

町会の運営や活動等 に関するアンケート 調査報告書



令和7年1月 弘前市

目 次

1. 町会の基礎情報について

問 1	町会長の年齢について	1
問 2	町会長の職業について	1
問 3	町会長の月間従事日数について	2
問 4	町会長の通算在職年数について	2
問 5	町会長の選出方法について	3
問 6	町会費について	4
問 7	町会費の集金方法について	6
問 8	町会の活動場所について	6

2. 町会運営の「今」について

問 9	町会の運営状況について	7
問 10	役員との情報共有方法について	8

3. 町会の活動について

問 11	町会の活動について	9
------	-----------	---

4. 町会のこれからについて

問 12	町会継続の不安感について	16
問 13	町会継続の不安要因	17
問 14-1	町会で取り組みたいこと	21
問 14-2	町会で特に力を入れて取り組みたいこと	24
問 14-3	市に支援してほしいこと	25

5. さいごに

問 15	町会で効果があった取組み	26
問 16	町会のPRや特徴的な取組み	31
問 17	町会に関する自由意見	35

<参考資料> アンケート調査票

調査概要

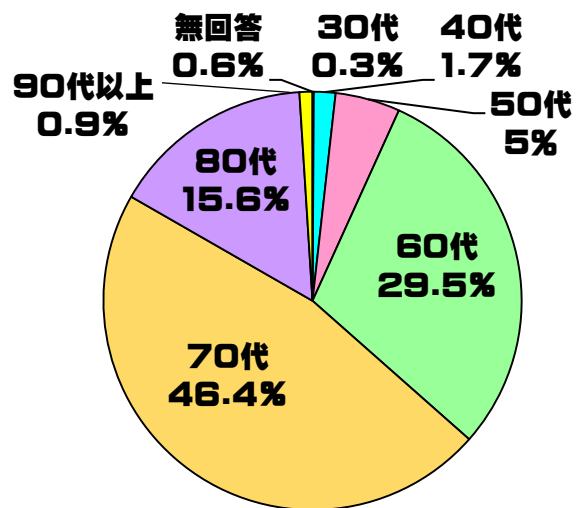
目 的	町会が抱える課題及び市に求める支援内容を把握し、 今後の町会支援策の参考とするため。 また、調査結果を町会へ提供することで、各町会活動の活性化 につなげるためアンケート調査を実施。
調査対象	市内全 325 町会
調査方法	アンケート用紙を配付し、記入後回収
調査期間	令和 6 年 7 月 9 日～ 9 月 1 0 日
回答町会数	302 町会（回収率 92.9%）

1. 町会の基礎情報について

問1 貴町会長の年齢は？

	町会数	構成比(%)
30代	1	0.3
40代	5	1.7
50代	15	5
60代	89	29.5
70代	140	46.4
80代	47	15.6
90代以上	3	0.9
無回答	2	0.6
合 計	302	100

H28 (%)
0
3
9
38
41
9
0
0
100

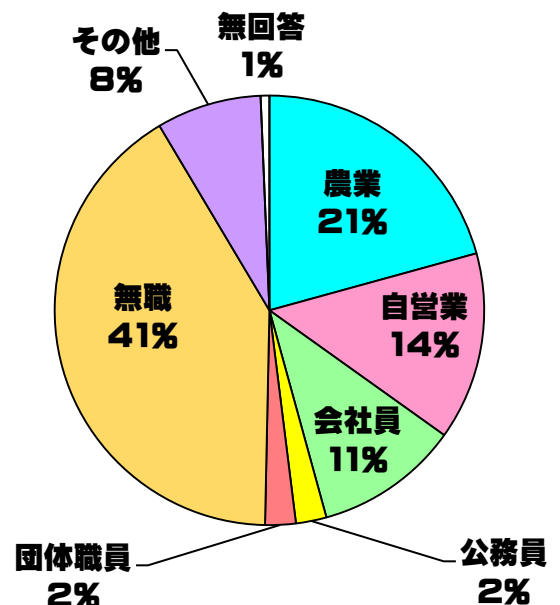


◆最年少 34 歳 ◆最年長 97 歳
◆平均年齢 71.5 歳

問2 貴町会長の職業は？

	町会数	構成比(%)
農業	61	21
自営業	42	14
会社員	32	11
公務員	7	2
団体職員	6	2
無職	125	41
その他	27	8
無回答	2	1
合 計	302	100

H28 (%)
23
14
7
2
2
44
8
0
100



◆その他

- ・会社役員 ・パート ・住職 ・宮司 ・市議会議員 ・シルバー人材員
- ・土地家屋調査士補助者 ・非常勤講師 ・非常勤公務員 ・日雇い労働者

調査結果から

- ◆ 年齢は、70代の人が46.4%と最も多いという結果でした。平成28年に実施した町会活動に関するアンケート（以下、H28アンケート）では70代の人が41%だったことから、高齢化が進んでいることがうかがえます。
- ◆ 職業は、無職の人が41%でした。H28アンケート時と比較すると無職の割合が3%減り、一方で会社員の割合が4%増えました。

問3 貴町会長の町会業務の月間従事日数は何日ですか？

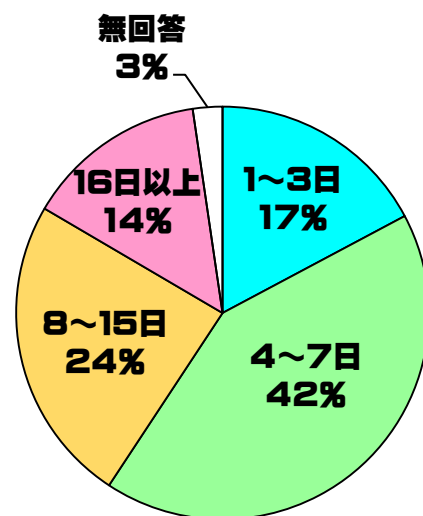
※地区町会連合会の役員を兼務している方はその活動も含めてください。

	町会数	構成比(%)
1～3日	52	17
4～7日	127	42
8～15日	73	24
16日以上	43	14
無回答	7	3
合 計	302	100

59%

38%

H28 (%)
57
41
2
100



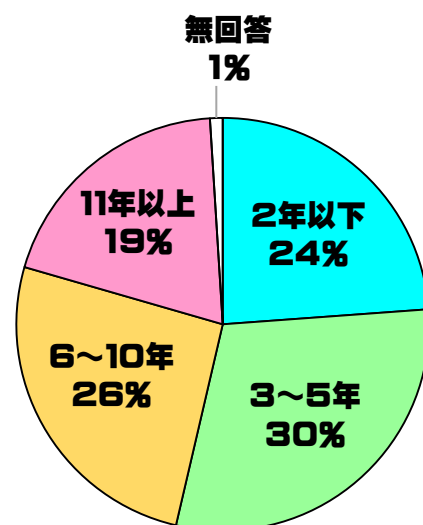
問4 貴町会長の通算在職年数は何年ですか？

※町会長を複数回お勤めの方は、合計年数を選択してください。

	町会数	構成比(%)
2年以下	72	24
3～5年	90	30
6～10年	78	26
11年以上	59	19
無回答	3	1
合 計	302	100

45%

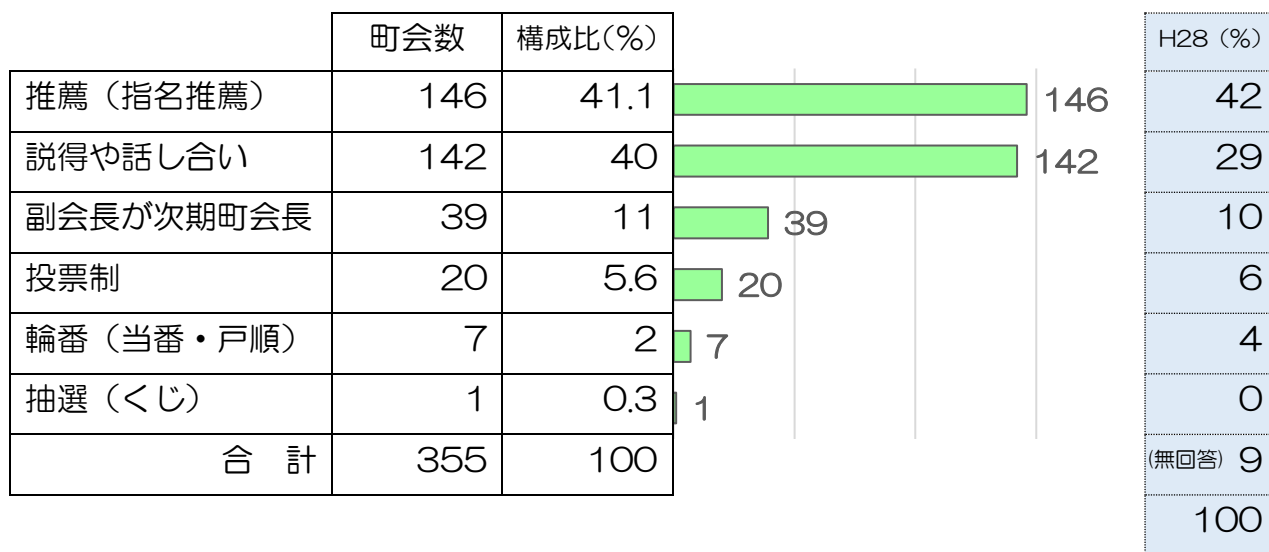
H28 (%)
26
39
35
0
100



調査結果から

- ◆ 月間従事日数は、「4～7日」の人が42%と最も多いという結果でした。
- ◆ 通算在職年数は、「3～5年」の人が30%と最も多いという結果でした。一方で、「6年以上」勤めている人の割合が45%と、H28 アンケート時の35%から10%増加しており、在職年数が長期化していることがうかがえます。

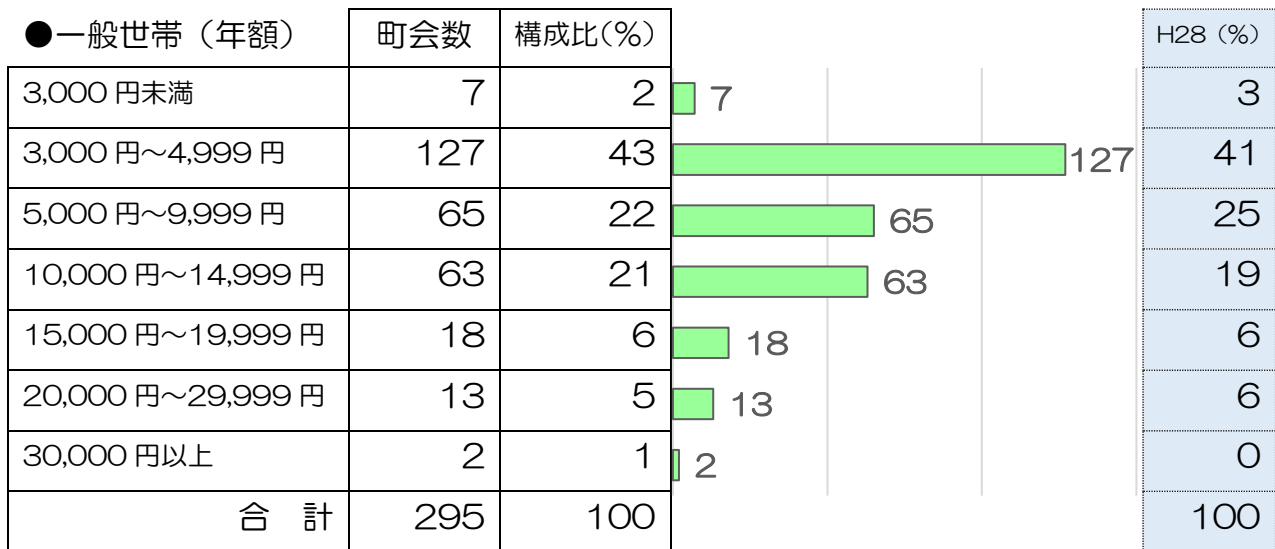
問5 貴町会長の選出方法は、どのような方法ですか？（複数回答あり）



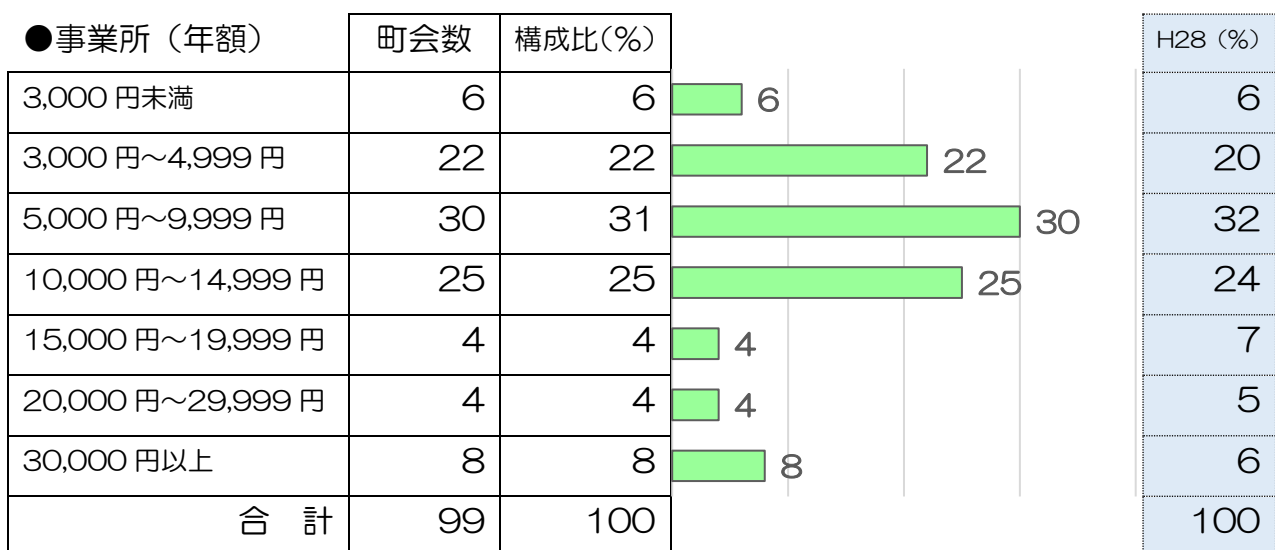
調査結果から

- ◆ 町会長の選出方法は、「推薦（指名推薦）」が41.1%と最も多いという結果でした。次いで「説得や話し合い」が40%、「副会長が次期町会長」が11%という結果でした。
- ◆ H28 アンケート時と同じ順となりましたが、「説得や話し合い」の割合が29%から40%に増加しています。

問6 現在の町会費を教えてください。



◆最大…36,000 円 ◆最小…0 円 ◆…平均 7,964 円



◆最大…146,000 円 ◆最小…0 円 ◆平均…13,144 円

調査結果から

<一般世帯の町会費について>

- ◆ 回答の中には、「2,400 円～6,000 円」のように、幅のある回答もありました。このような場合は、平均値を算出しています（「2,400 円～6,000 円」の場合、4,200 円とする）。また、月額で回答があったものは、回答金額×12 ヶ月分で年額を算出しています。
- ◆ 町会費は、「年額 3,000 円～4,999 円」に設定している町会が最も多く、127 町会（全体の 43%）という結果でした。

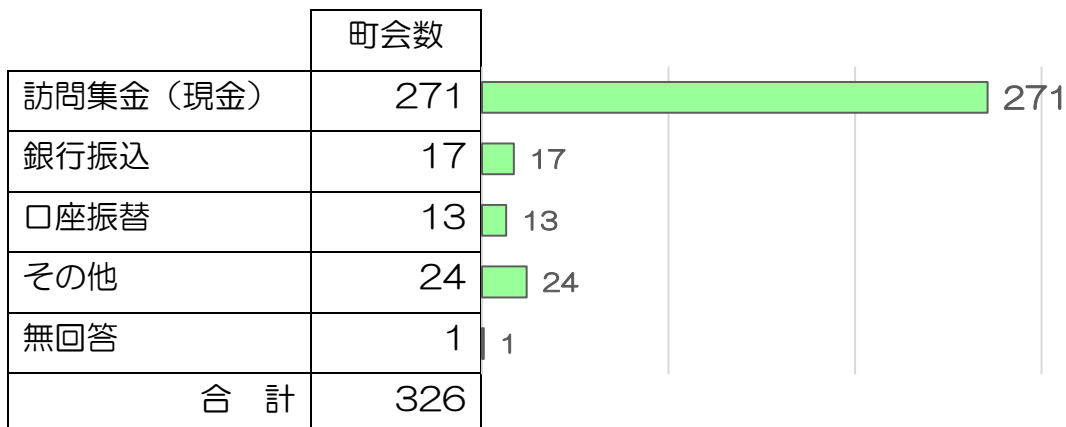
<事業所の町会費について>

- ◆ 回答の中には、「12,000 円～90,000 円」のように、幅のある回答もありました。このような場合は、平均値を算出しています（「12,000 円～90,000 円」の場合、51,000 円とする）。また、事業所の規模等により「500 円、1,000 円、1,500 円」のように設定しているという回答もありました。このような場合も同様に、平均値を算出しています（「500 円、1,000 円、1,500 円」の場合、1,000 円とする）。
- ◆ 事業所の町会費を設定している町会は、99 町会あり、「年額 5,000 円～9,999 円」に設定している町会が最も多く、30 町会（全体の 31%）という結果でした。
- ◆ このほか、「賛助金として、10,000 円～36,000 円」という回答もありました。

<その他の町会費について>

- ◆ 借家やアパート、社宅への入居世帯の町会費を別に設定していると回答した町会もありました。
- ◆ 高齢者世帯、ひとり親世帯、生活保護世帯等に対して町会費を減額していると回答した町会もありました。
- ◆ その他会費等（年額）
 - ・ 医院…18,000 円 ・ 病院…80,000 円 ・ ホテル…12,000 円
 - ・ 保育園…10,000 円（30,000 円） ・ 銀行…9,600 円
 - ・ 会館建設積立金…2,400 円 ・ 動力費…6,000 円
 - ・ 除雪費…月額 1,000 円

問7 町会費の集金方法を教えてください。(複数回答あり)

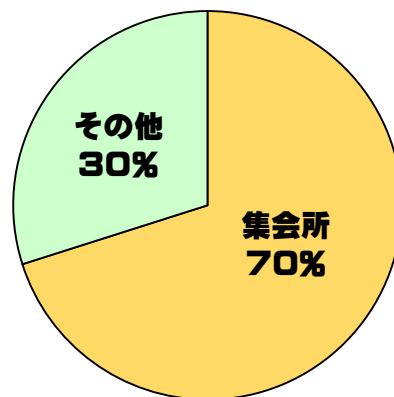


◆その他

- ・班長（会計）に持参してもらう ・町会事務所、公民館、集会所等へ持参してもらう
- ・世話人による集金 ・アパートは家主が支払う

問8 町会の活動場所を教えてください。(複数回答あり)

	町会数	構成比(%)
集会所	218	70
その他	93	30
合 計	311	100



◆その他

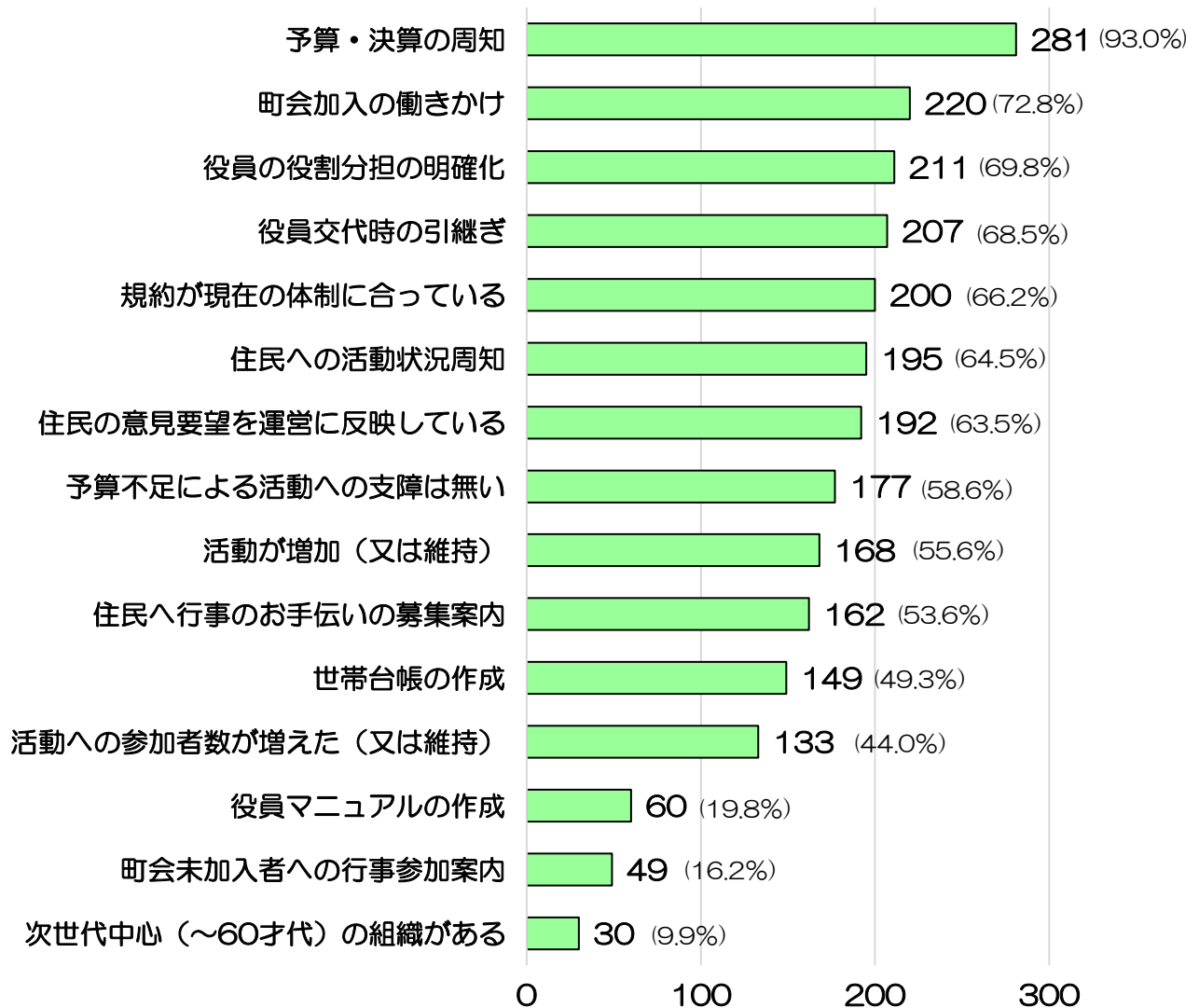
- ・町会長や役員等の自宅 ・公共施設の会議室等（公民館、体育施設、社会福祉センター、文化センター、交流センター、総合学習センター、小学校、れんが倉庫美術館、老人福祉センター、伝統産業会館等）
- ・店舗の空きスペース ・飲食店 ・町会の事務所 ・他町会の集会所 ・民間介護施設
- ・物置 ・庭 ・屯所

調査結果から

- ◆ 町会費の集金方法は、「訪問集金（現金）」が271件と最も多いという結果でした。
- ◆ 活動場所は、「集会所」が全体の70%と最も多いという結果でした。

2. 町会運営の「今」について

問9 町会の運営状況について、あてはまるものに○をつけてください。
(該当するものすべて選択)

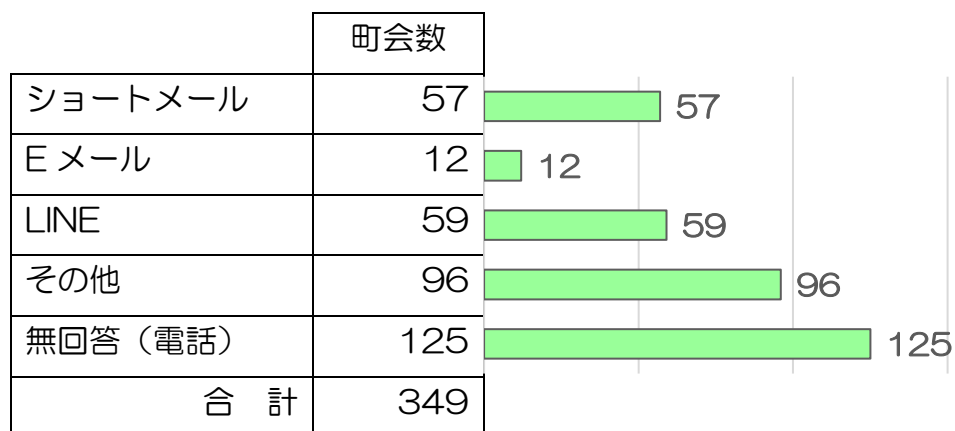


※数字は町会数、(%) はアンケート提出町会 302 町会に比した割合

調査結果から

- ◆ 「予算・決算を住民に周知している」については、回答した町会の 93% が実施しているという結果でした。
- ◆ 「役員マニュアルを作成している」、「町会未加入者への行事参加の案内をしている」、「次世代中心（～60 才代）で活動する組織がある」については、実施している町会が 20% 未満という結果でした。

問 10 役員との情報共有方法について、電話以外で用いているものを教えてください。(該当するものすべて選択)



◆その他

- ・文書(回覧、郵送、持参等) ・案内チラシ ・訪問して口頭で伝える
- ・定例役員会時 ・廃品回収や公園清掃等の町会活動時 ・インスタグラム

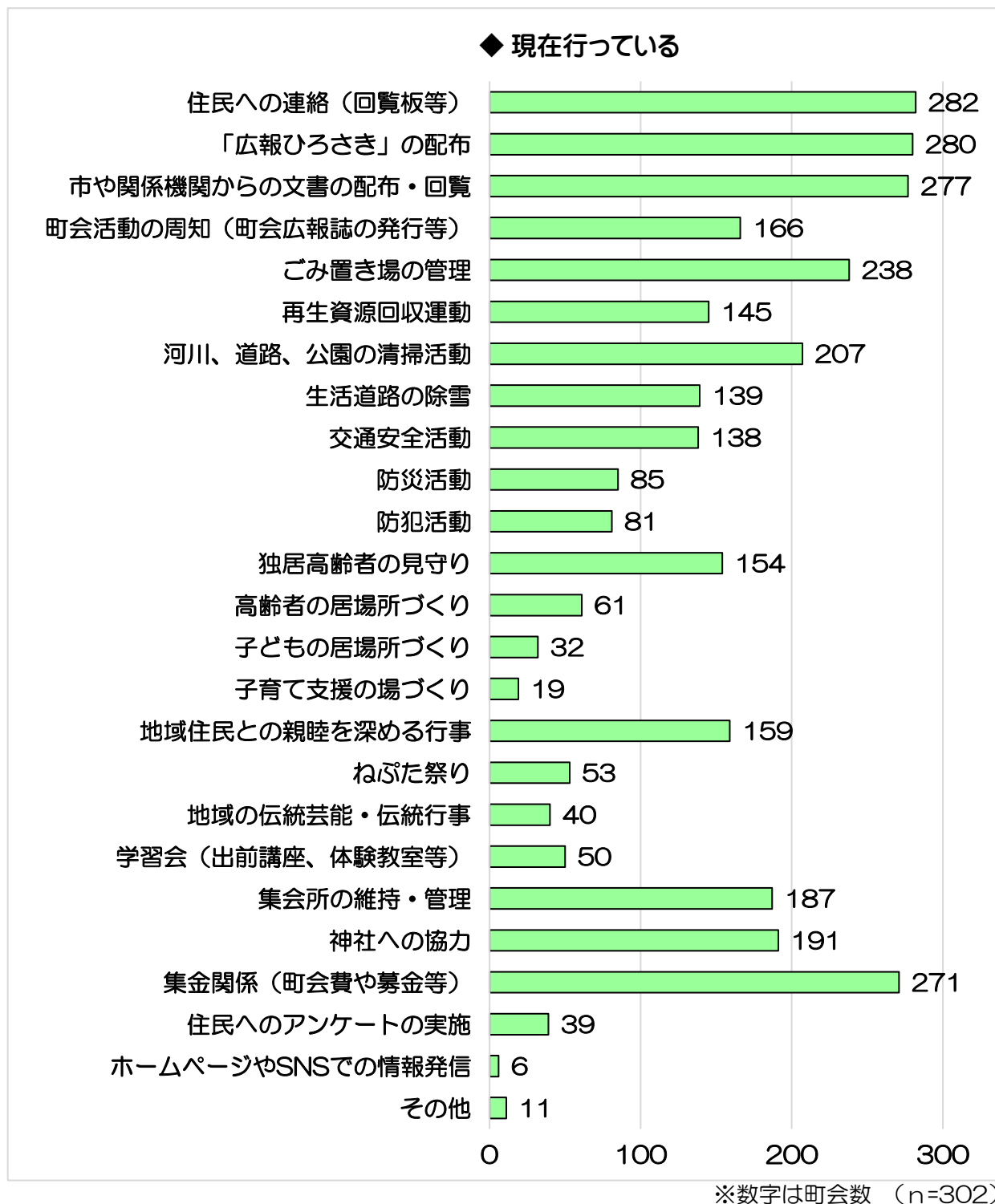
調査結果から

- ◆ 役員との情報共有は、無回答が 125 件と最も多く、「電話」での情報共有が多く行われていることが推測されます。
- ◆ 一方で、「ショートメール」「Eメール」「LINE」という回答が合わせて 128 件という結果で、手軽に複数の相手に情報を伝達できるツールも多く用いられていることが分かりました。

3. 町会の活動について

問 11

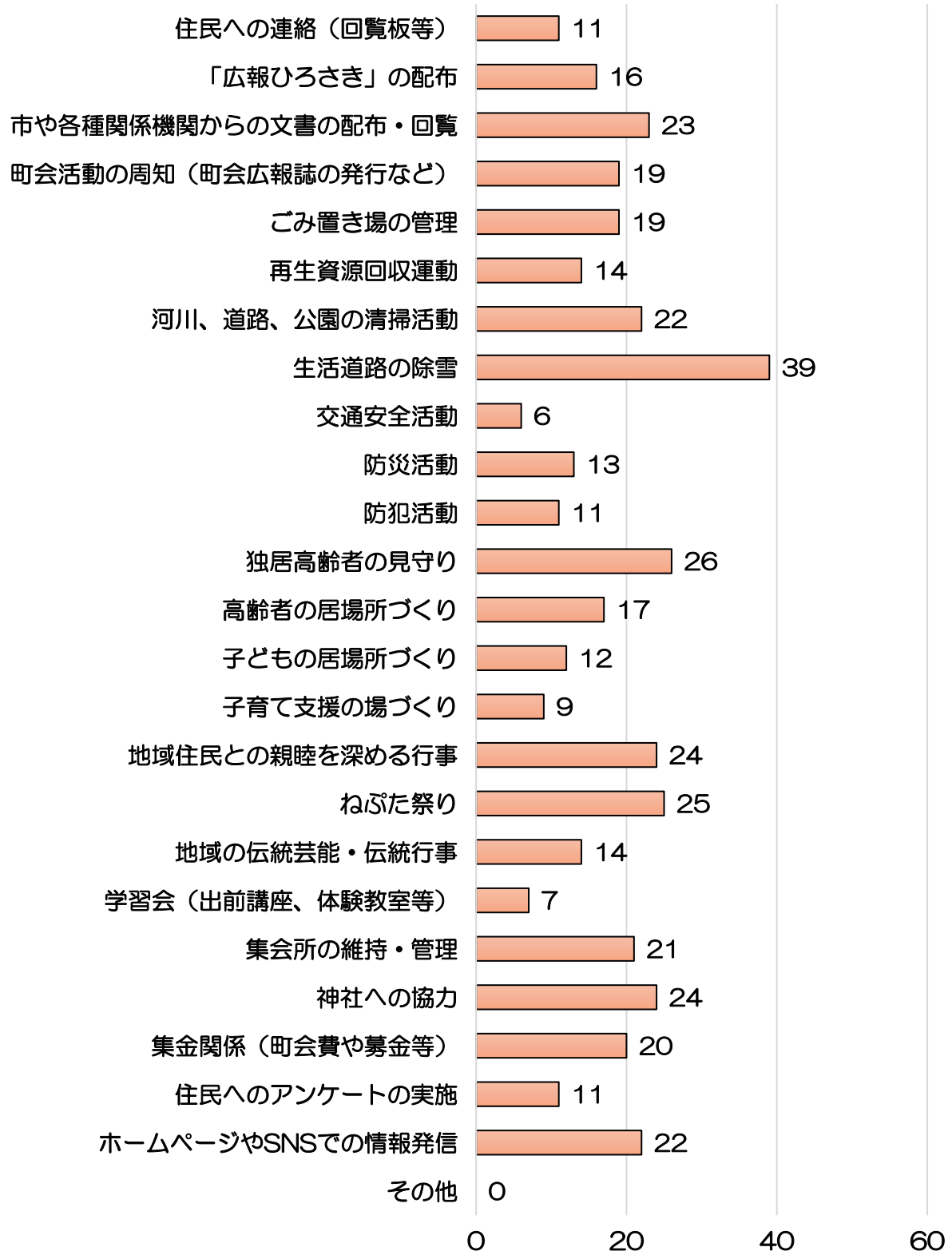
貴町会で「現在行っている活動」「負担が大きい活動」「コロナ禍でとりやめた活動」「今後町会で行いたい活動」「今後近隣町会等と一緒にやりたい活動」「行政機関等で行ってほしい活動」に○をつけてください。
(該当するものすべて選択)



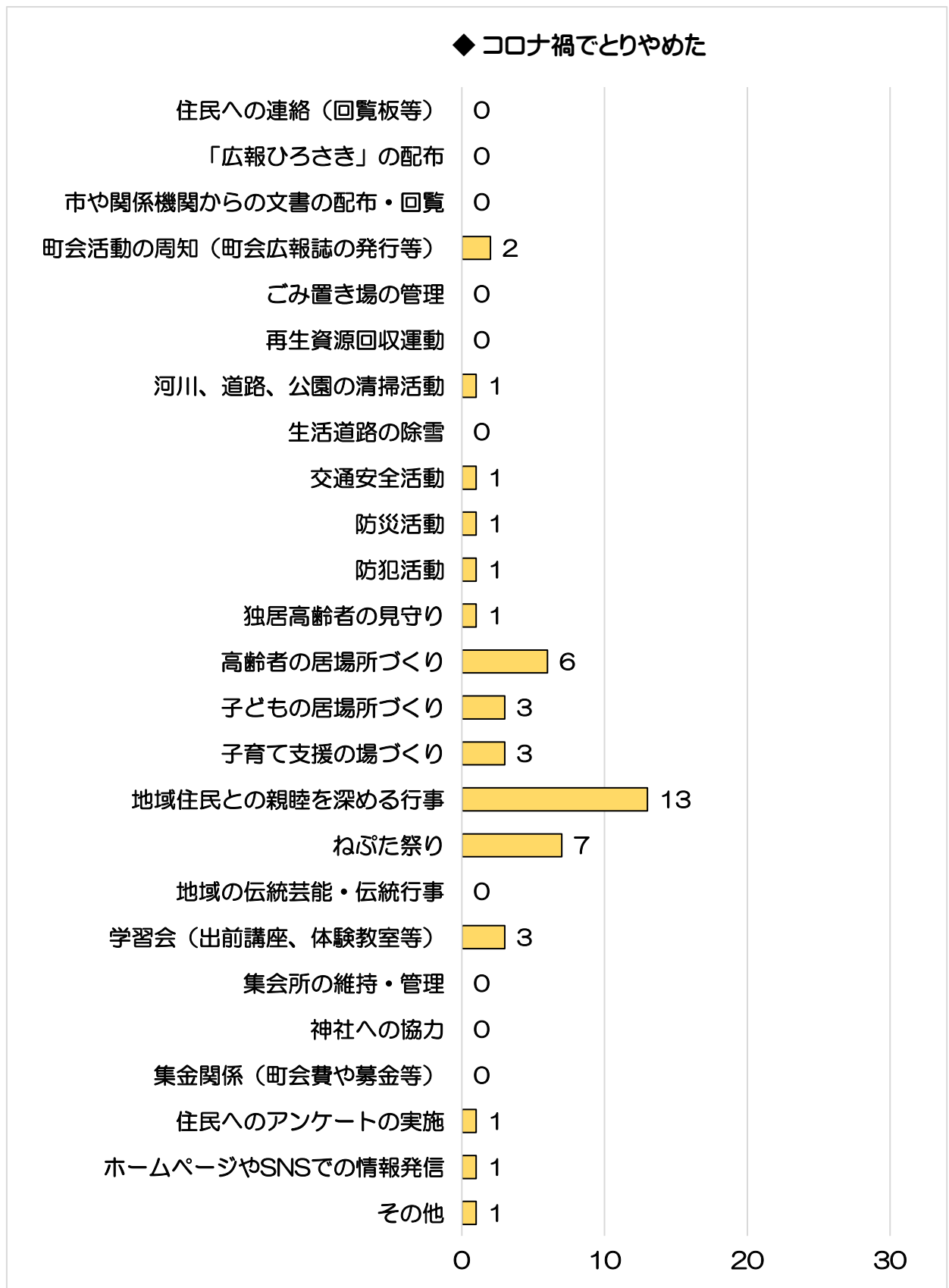
◆ その他の活動

- ・年末の餅作り
- ・町会記念誌発行
- ・アメリカシロヒトリ薬剤散布
- ・敬老会
- ・納涼夜店まつり
- ・小学校新入生への祝金、褒章者への祝金
- ・ラジオ体操
- ・小学校との連携
- ・町会だよりの回覧
- ・通学路除雪
- ・熊、スズメバチ対策

◆ 負担が大きい

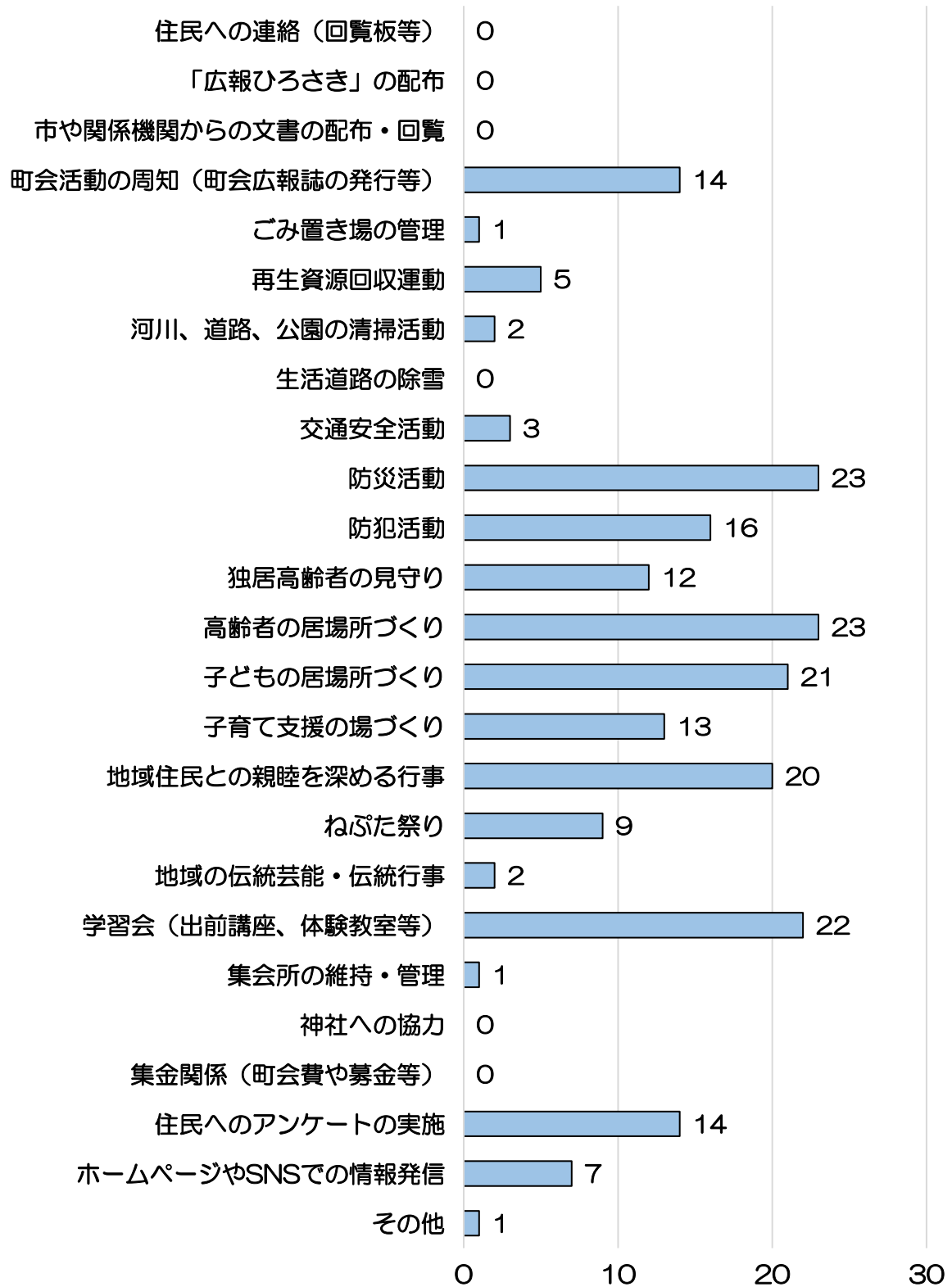


※数字は町会数（n=302）



◆ その他の活動 ・ ふれあい食事会

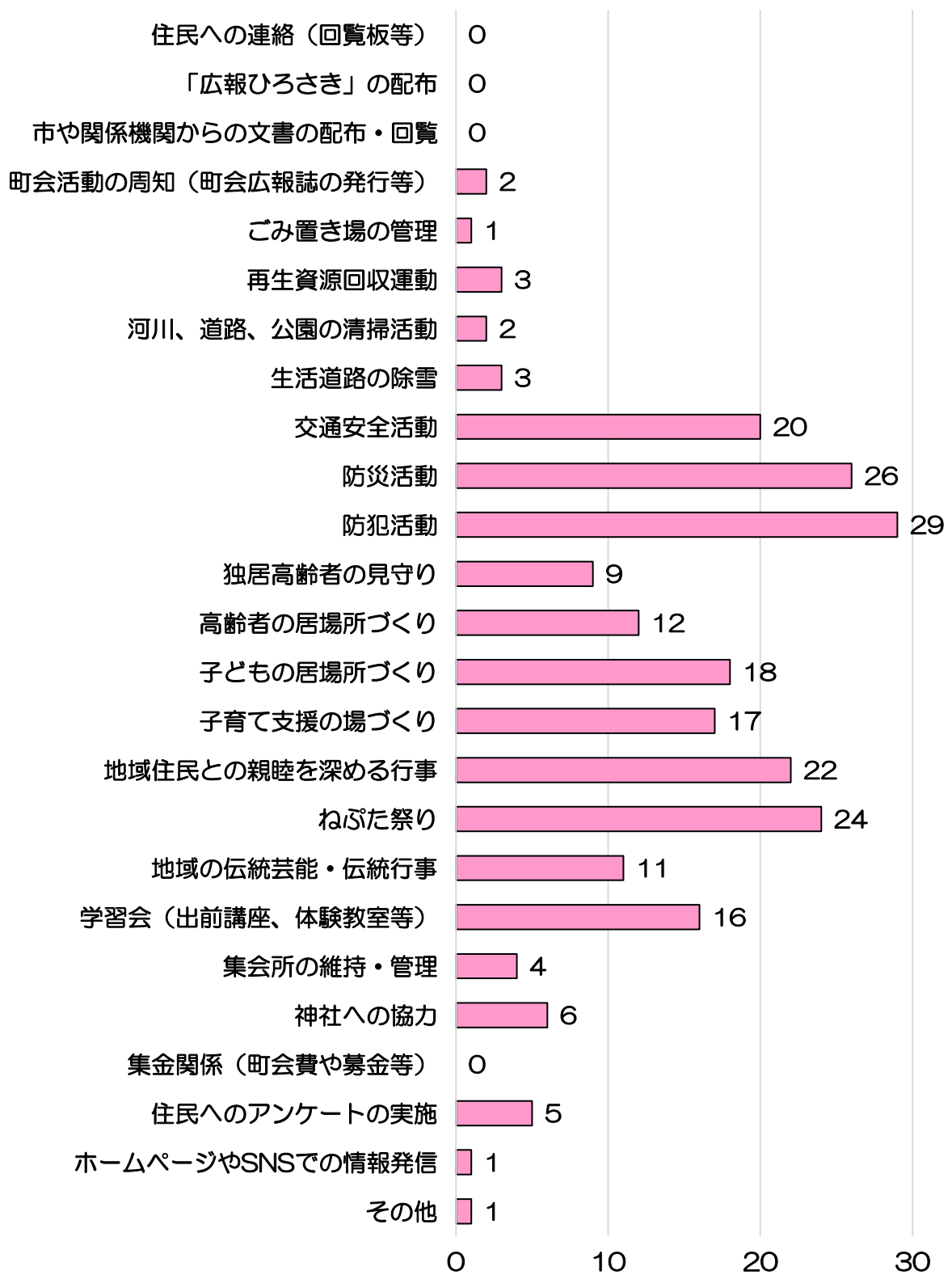
◆ 今後町会で行いたい(復活させたい)



※数字は町会数 (n=302)

◆その他の活動 ・ お山参詣

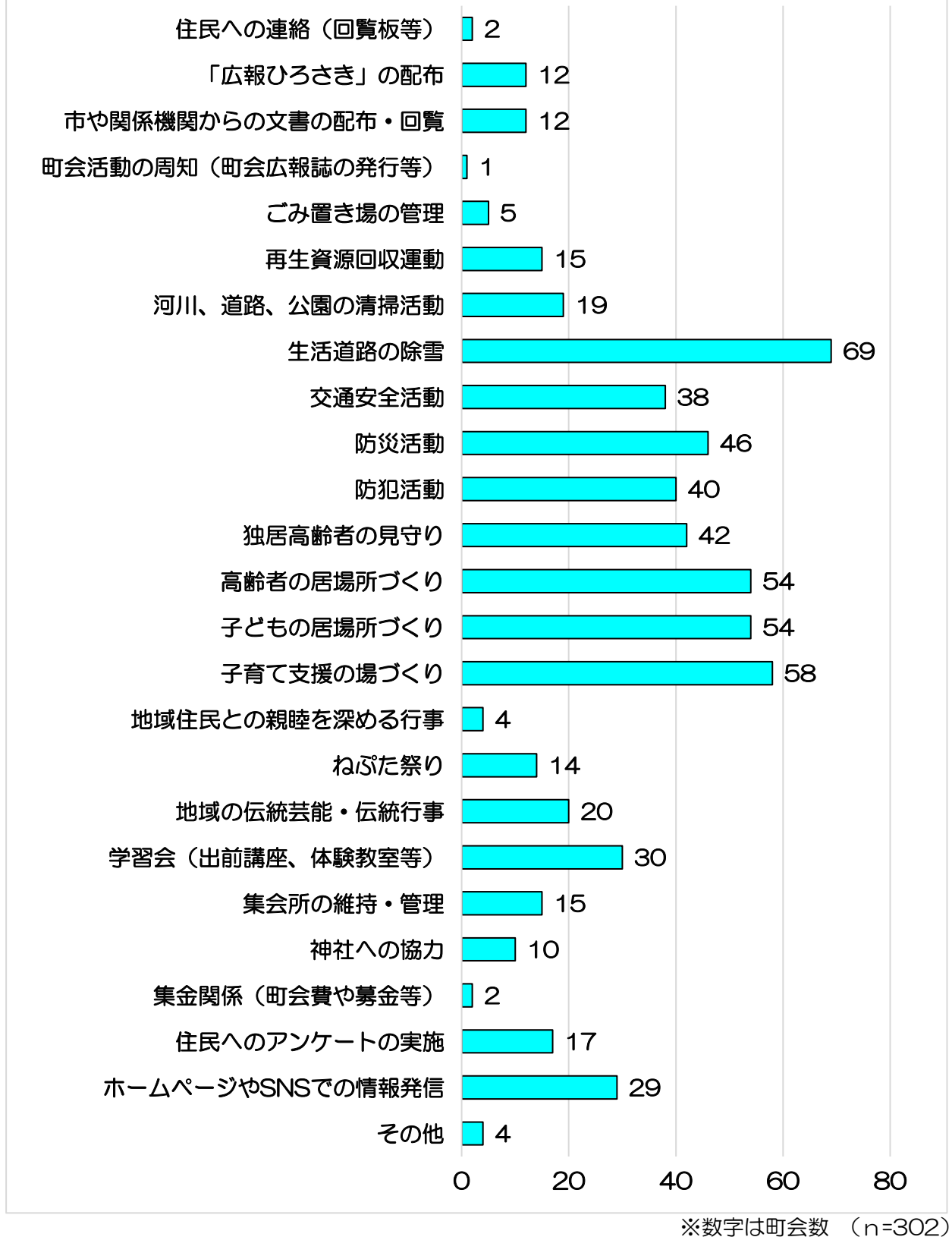
◆ 今後近隣町会や地区町会連合会と一緒にやりたい



※数字は町会数（n=302）

◆ その他の活動 ・ 小学校との連携

◆ 行政機関、関係団体で行ってほしい



◆ その他の活動

- ・ロードミラーの設置
- ・キャンプ体験、農事体験
- ・お山参詣
- ・通学路の除雪

調査結果から

＜現在行っている活動、負担が大きい活動について＞

- ◆ 現在行っている活動は、「住民への連絡（回覧板等）」、「広報ひろさきの配布」、「市や関係機関からの文書の配布・回覧」の順で多くなっています。
- ◆ 一方で「ホームページや SNS での情報発信」を行っている町会が少ないことが分かります。この結果は、「ホームページや SNS での情報発信」については負担が大きいと挙げている町会が比較的多いことにも結びついています。
- ◆ 負担が大きい活動は、「生活道路の除雪」、「独居高齢者の見守り」、「ねぶた祭り」の順で多くなっています。

＜コロナ禍でとりやめた活動について＞

- ◆ 「地域住民との親睦を深める行事」が最も多いという結果でした。

＜今後町会で行いたい（復活させたい）活動について＞

- ◆ 「防災活動」、「高齢者の居場所づくり」が同数で最も多いという結果でした。
- ◆ 「学習会（出前講座、体験教室等）」、「地域住民との親睦を深める行事」も多くなっており、住民同士の関わりや交流する場を復活しようという町会が多いことがうかがえます。

＜今後近隣町会や地区町会連合会と一緒にやりたい活動について＞

- ◆ 「防犯活動」、「防災活動」を挙げた町会が多いという結果でした。

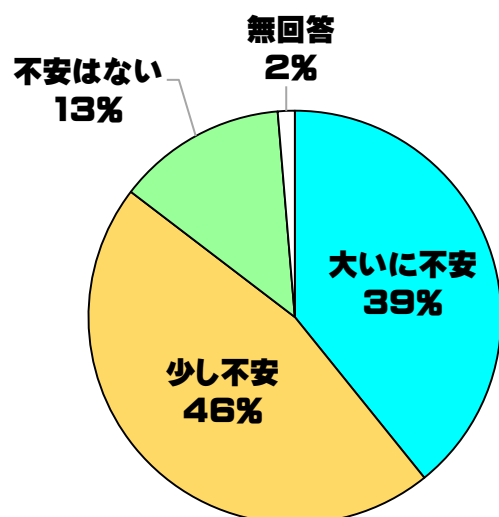
＜行政機関、関係団体で行ってほしい活動について＞

- ◆ 「生活道路の除雪」を挙げた町会が最も多く、続いて「子育て支援の場づくり」、「高齢者の居場所づくり」、「子どもの居場所づくり」の順で多くなっています。

4. 町会のこれからについて

問 12 貴町会では現在、町会の継続について不安を感じていますか。

	町会数	構成比 (%)		R2 (%)	
大いに不安を感じている	118	39	85%	22.4	72.9%
少し不安を感じている	139	46		50.5	
不安は感じていない	40	13		26.1	
無回答	5	2		1.0	
合 計	302	100		100	

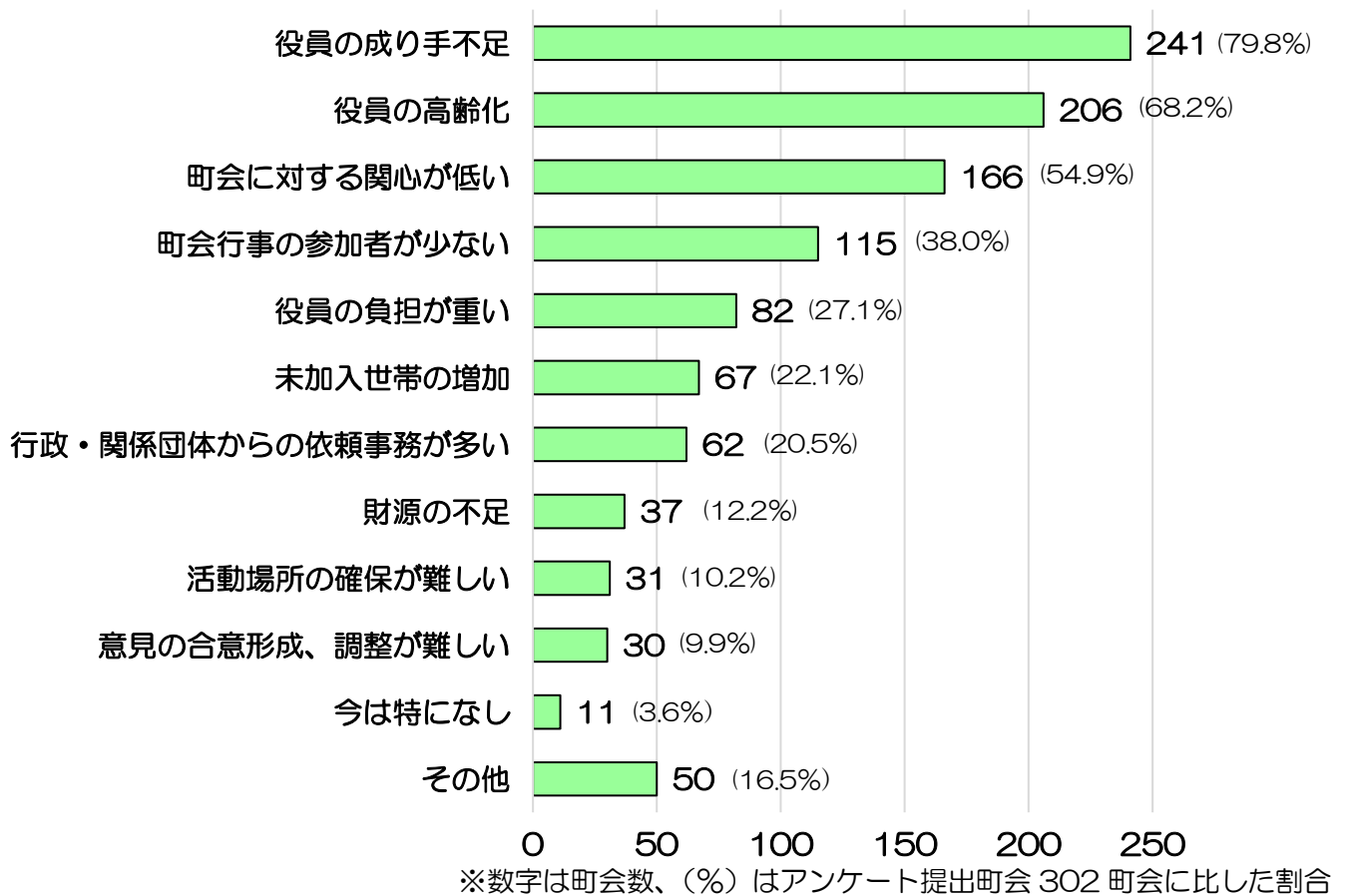


調査結果から

- ◆ 「大いに不安」と「少し不安」を合わせると、全体の 85%が町会の継続に不安を感じていることが分かりました。
- ◆ 令和 2 年に実施した町会活動に関するアンケート結果では「不安」と感じている町会が 72.9%だったことから、不安感の高まりがうかがえます。

問 13

町会の継続について不安を感じる要因は何ですか。
(該当するものすべて選択)



調査結果から

- ◆ 町会の継続に不安を感じる要因は、「役員の成り手不足」、「役員の高齢化」、「(住民の) 町会に対する関心が低い」という順で多くなっています。
- ◆ その他として、「少子高齢化」や「人口減少」「世帯数の減少」を挙げる町会が多数ありました。

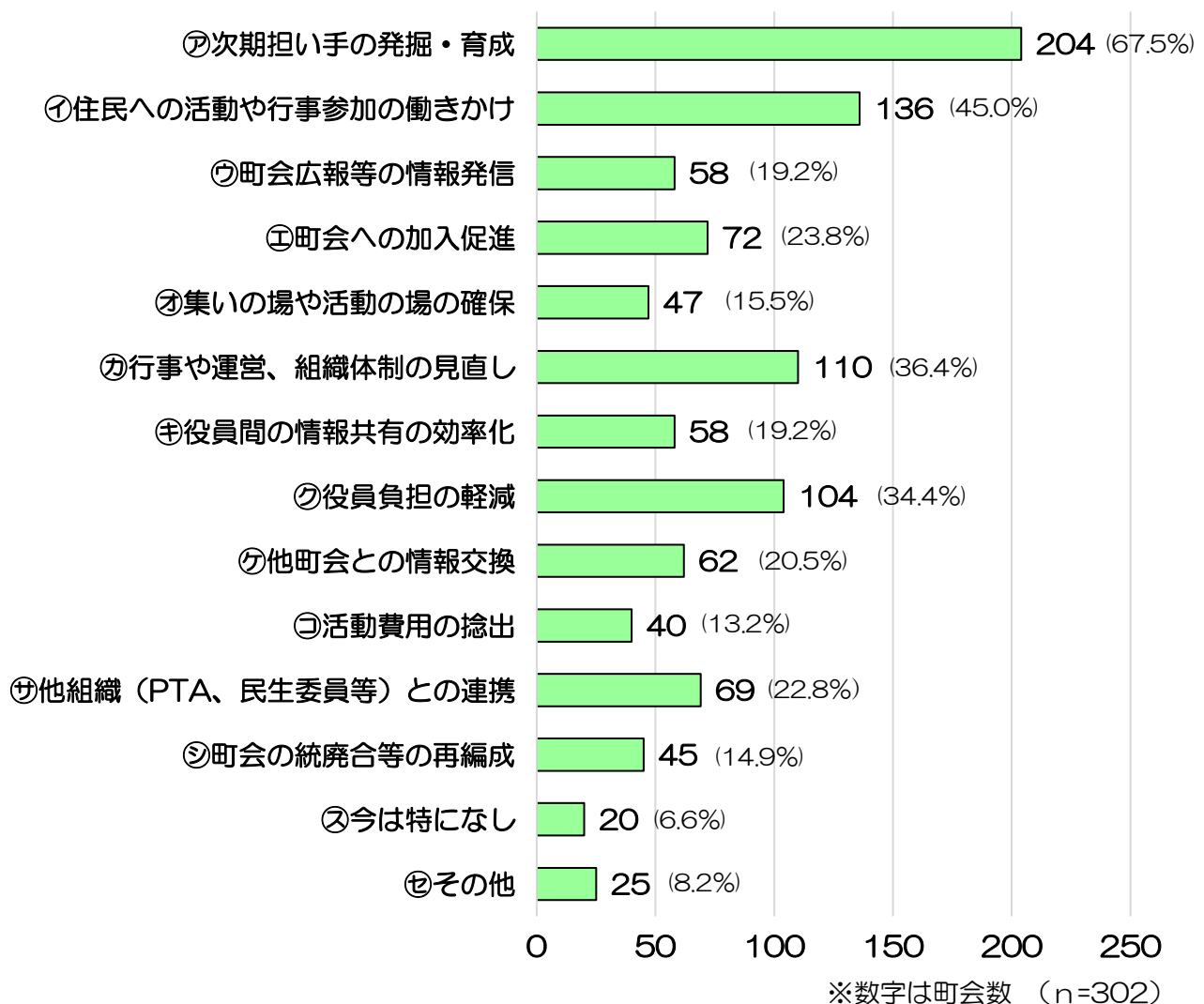
その他（自由記述）
◆少子高齢化・人口の減少・世帯数の減少
・子どもの少なさが、町会の活気が高まらない原因でもあり、将来への不安材料です。
・町会全体の高齢化。
・住民が減少している。住民の高齢化。
・世帯数の減少。現行の町会単位ではいずれ機能しなくなる。
・コロナ前は年２回の親睦旅行の参加人数が１０名ほどありましたが、最近は参加者が数名なので結局取りやめとなりました。高齢者ばかりになっております。
・高齢化、極端に男性が少なく、高齢女性一人暮らしの世帯が占めていること。
・町会員の高齢化。高齢を理由に敬老会を欠席する人が増えた。
・町会の様子が区画整理でがらりと変化した。人口と世帯数は減り、高齢者がほとんど。役員は私を含め３人で、ほとんど私が町会を切り盛りしている。活動は出来ず、どうにか町会を維持している状態で先は分からない。
・住民の高齢化。
・高齢者（役員）が多い為パソコン等使用できる人がいない。
・加入３０世帯、未加入６世帯、計３６世帯（うち法人６）の小さな町会です。他との関係で町会費が他町会より高額になっており、負担が大きい。コロナ以降、みんなで集まる機会が減り、コロナの心配が減った現在は、町会費を使って集まる機会をつくるが、参加者が減少している。
・少子高齢化による町会世帯数の減少。空き家が増えている。
・市からの協力依頼事務の中に民生委員の推薦がありますが、担い手がいなく困っております。他地区においても同様の状態であるらしく、候補者がいないため町会長が兼務する町会も出てくるなど、悪循環になっていくのではと思われます。
・役員の成り手がいけないという理由で、同じ人が係や役員を続けると、組織が硬直化すること。
・統廃合の検討を進めているため、世帯数減少、住民の高齢化、行政や地区との関係等、維持することに不安を感じる。
・住民の高齢化が進み、入居率が減少している。
・事業所を除くと、一般家庭は５０世帯ほど、若者が少なく小学生は３人、未就学児童は５人ほど。この先町会維持が心配。
・現在の集会所が狭く、階段が急なため、高齢者が利用しづらい。
・世帯数の減少、住民の高齢化、担い手の減少（若者の流出）。
・地域の特性から全般に高齢者が多数。また、６０才以上でも仕事に従事している人が増えていると感じる。自身も仕事をしており、他役員との相談等の時間合わせが難しい。
・空き家の増加に加え、独居高齢者も増えている。町会内の居住環境が少しずつ悪化している。皆さん忙しすぎるのか、生活の明るさが減っているようだ。交流の拡大が必要。
・世帯数の減少。
・小さい町会はいろいろな面で余裕がない。

◆少子高齢化・人口の減少・世帯数の減少
・高齢者の割合が増加しており、役員の成り手が少なく不安（若者が町会から離れて行く）。町会費が高い。
・町会世帯の減少。
・特に民生委員の成り手がいない。町会長の負担が重い。
・子どもが極めて少ない。
・無気力化。少子高齢化によるパワー不足でありその対策が難しい。
・現在 6 世帯（内一人暮らし 4 世帯）で町会活動の維持が難しい。
◆町会役員の負担感
・役員の負担というより、町会長の負担が大きい。仕事を持っている人は、役員になりたがらない。
・役員の年齢は 80 才台が 1 人、あとは 70 才前後の方で構成され皆さん協力的です。町会長が出席する会が多く、資料作りも町会長へ集中しています。仕事の分散を試みっていますが、次期町会長の成り手がいるのか心配です。町会長の仕事を減らしてほしいです。今後、定年年齢が 70 才となり、共稼ぎが当たり前の世の中、町会役員、特に町会長の成り手はなくなると思う。
・関係団体、特に社協による募金集め。民生委員の成り手がいないことから、町会への負担が大きくなっている。このままだと町会長や班長の負担が大きすぎる。
・前町会長時代に役員の会議が 2～3 回/年だったが、町会活動の活性化や情報共有のため 7～8 回/年に変更した。回数が増えた事で負担感を感じていると思われる。また予算活用に関しても使わないほうが良い（繰り越し増が望ましい）とされていて有効活用する事に関して抵抗感を感じる。
◆住民の関心不足
・当町会は二世帯、三世帯の世帯がほとんどです。昔は、商店や職人の町でしたが今の若い世代は勤め人がほとんどで、横の繋がりが少なく町会組織としての将来が心配です。
・町会に参加する意義が明確でない。河川、側溝清掃や道路清掃等を行う習慣が失われている。
・定年の延長や定年後の再就職など、そちらの方が優先され町会等に関する関心が年々薄れてきている。
・事業ごとに案内をしているが、特定の行事（夜店祭りや餅つき）には沢山の参加はあるが、その他には興味を見せない。
・町会がなくなった時のデメリットは何か。これを知らないから町会加入者が減り、未加入者が増える。
・新規行事を計画・実行しているが、若年層（30～60 代）の参加者が全くなく、いつも同じメンバー（70 才以上）が参加している。参加すると役員をやらせられると思っているのか。今年は一年間全く行事を開催せず、会員の反応をみたいと思っている。

◆災害時への不安
・防災について町会に期待できない。（アパートだらけなので、町会未加入者が多い。町会役員が平均年齢 75 歳で人助けできない・町会長は仕事の関係で不在のほうが多い）。 ・災害時の避難の場所と高齢者が多いためどのように避難するかまだ決まっていない。
◆その他
・町会の名前の由来となっている地域の清水が 2 か所（日本名水 100 選「富田の清水」、私たちの名水「御膳水」）のうち「御膳水」の湧水が枯渇しており、町会の名前にふさわしくない状態が続いており、名水復活を望んでいます。 ・集会所がないので、弘前市伝統産業会館を会議や研修等で利用しているが、土・日が閉館で利用しづらい。 ・町会を継続していくとなれば不安があるわけで、町会を解散すれば解消される。町会が無くて、多少のデメリットはあると思うが、それほど困らないのではないかと思う。 ・世帯台帳を作りたいが、個人情報により反対という声がある。（今の台帳は 20 年位前のもの） ・公務員が行事に参加しない、班長（1 年交代）をやらない。回覧板不要という家が多い。 ・集会所の老朽化による修繕費がかさむ。 ・地区町会連合会の運営に疑問及び不安を感じる。 ・個人情報の関係で、家族構成の把握が難しい。 ・町会管理のごみ集積所へのゴミを出す日を守らない。他町会の住民が勝手に捨てて行く。ごみに関して心が折れそうです。 ・若者の個人主義が増加。助け合う心が大切。 ・町会に入ることにはそんなに抵抗はないが、役員を押しつけられるのではないかと思うようで行事参加に消極的。

問14-1

問13で選んだことを改善するために、貴町会の中で取り組みたいと思うことを教えてください。(該当するものすべて選択)



調査結果から

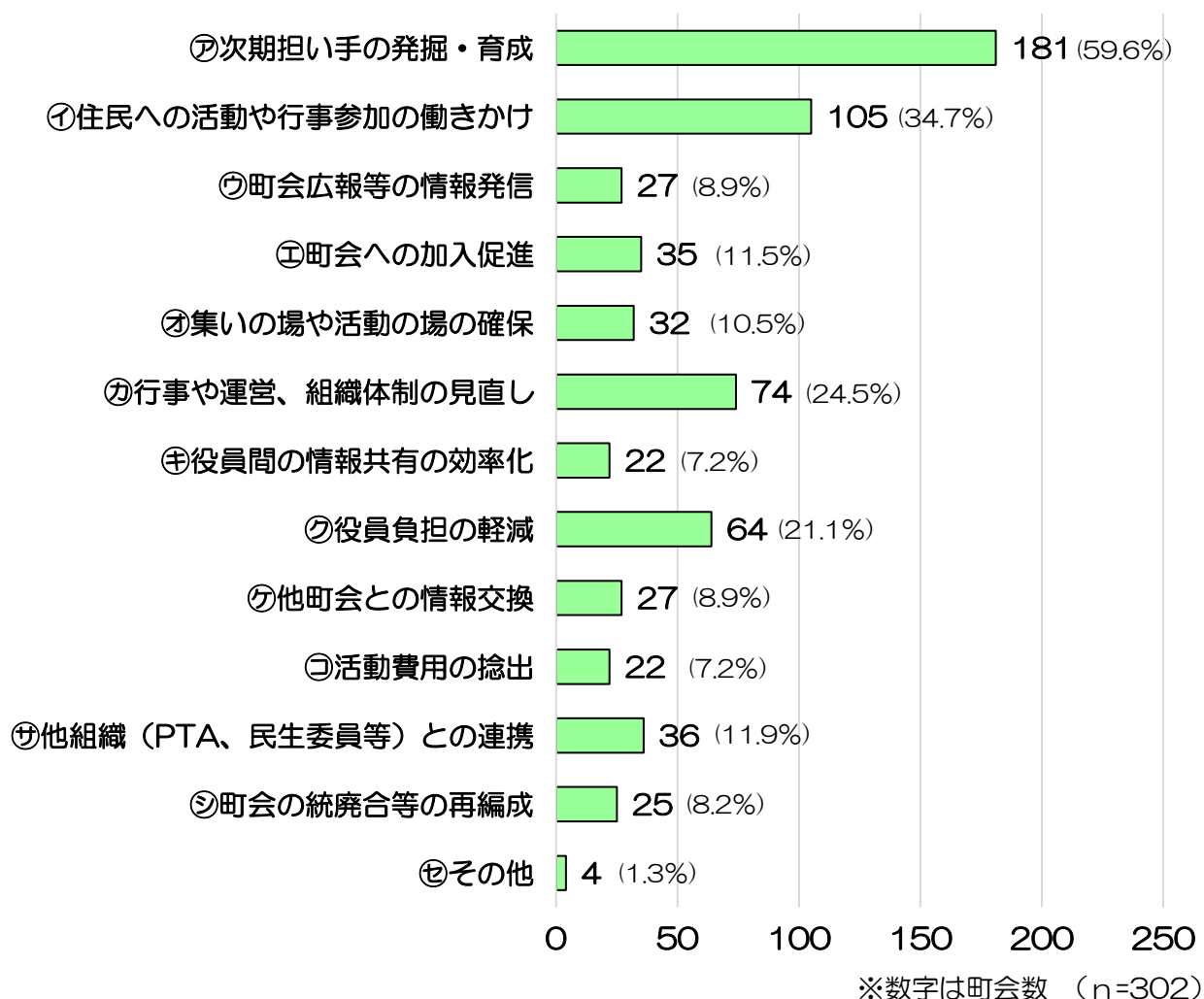
- ◆ 「次期担い手の発掘・育成」に取り組みたいと挙げた町会が約67%と最も多いという結果でした。次いで、「住民への活動や行事参加の働きかけ」、「行事や運営、組織体制の見直し」、「役員負担の軽減」の順で多くなっています。
- ◆ その他の取り組みとして、「子ども」を軸に活動を活性化させたいと回答した町会や、「防災」に関する取り組みをしたいと回答した町会が複数ありました。

その他（自由記述） ◆イベントの企画、活性化 ① 10月中旬、町会集会所にて町会作品展を開催（2日間）。 ② 神社しめなわ作成と親睦BBQを開催…参加者はいつものメンバーだが、来年も引き続き開催し浸透を図る。 ③ ウォーキングやボウリング大会を開催。 ・町会役員の意欲を喚起し、活動できる体制にしたい。 ・子ども、高齢者が多く参加し、楽しめる活動を行いたい。 ・町内活性化の為に若年層の活動を促したい。〇〇実行委員会の設置等。 ・子どもを巻きこむイベントを考える ・役員とのベクトル合わせ→事業方針や予算の有効活用など、役員が同じ思考を持てるように、意識改革をして行く必要がある。 ・子供参加の行事と財源の確保。
◆世代交代・担い手不足の解消 ・町会長を交代したいが、成り手がいない。 ・女性部と老人部の組織作り。 ・できるだけ多くの町会員宅を訪問し、役員を引き受けてもらえるよう要請する。これまでは退職者に声掛けしてきたがすべて断られている。 ・今までは町会長、副会長、会計の3役は3班体制なので2年毎に交代していた。私が平成30年より令和9年迄の10年間継続する予定。その間に若い世代が年を取り、町会役員になる年齢になるのを期待している。町会行事も今年度から見直しをしていて、来期からは町会費の減額を目標としている。年額10,000円なら現在の世帯数でも活動できる。
◆他町会、他地区との連携・統合 ・ひとつの町会で出来ない事は、近隣の町会を巻き込む。 ・行事によっては合同開催を検討。
◆防災 ・隣近所の住民を把握するために、個人情報の開示を行政に求める。（災害時に住民の情報が把握できない、アパート住民は何の情報も無いが町会人口の半分以上を占める）。 ・防災（減災）に関する取り組み。 ・小学校での避難所開設・運営の訓練。
◆上記以外 ・各行事の案内は、文章だけではなく写真も必要である。また、戸別訪問も必要だと思う。 ・「御膳水」の復活要望活動に取り組んでいきたいと思います。 ・研修所にエアコンを設置したい。 ・市からの助成が難しい場合（資金が多額）がある。神社が古くなり過ぎている。墓所の崖崩れの修理（多額で町会では無理）。

◆上記以外
・一人世帯や高齢者世帯への見守り、支援の具体化。
・リスクヘッジ※（※リスクを予測し、リスクに対応できるよう備えること）
・世帯の高齢化、空き家の増加、若い世帯の減少による少子化により、年々町会に対する意識が薄くなっている。そのため、活動の活性化よりも最小限の活動をしっかり維持していくことを目標にしている。
・地区町会連合会では町会の統合を目指しているようだが、私は反対である。組織が大きくなれば、役員の負担が増し、役員の成り手がますますいなくなると思う。 ・町会の状況は特に悪いとは思っていないため、積極的な改善策はとっていない。 ・当地区も市街地と同じようにゴミを各戸ごとに収集してくれれば、町会というグループは廃止しても住民は困らないと思う。町会は住民にとって必要不可欠なものではない。
・民生委員の活動費を増額していただきたい。

問14-2

問14-1で「特に力を入れて取り組みたい」と思う上位3つを教えてください。



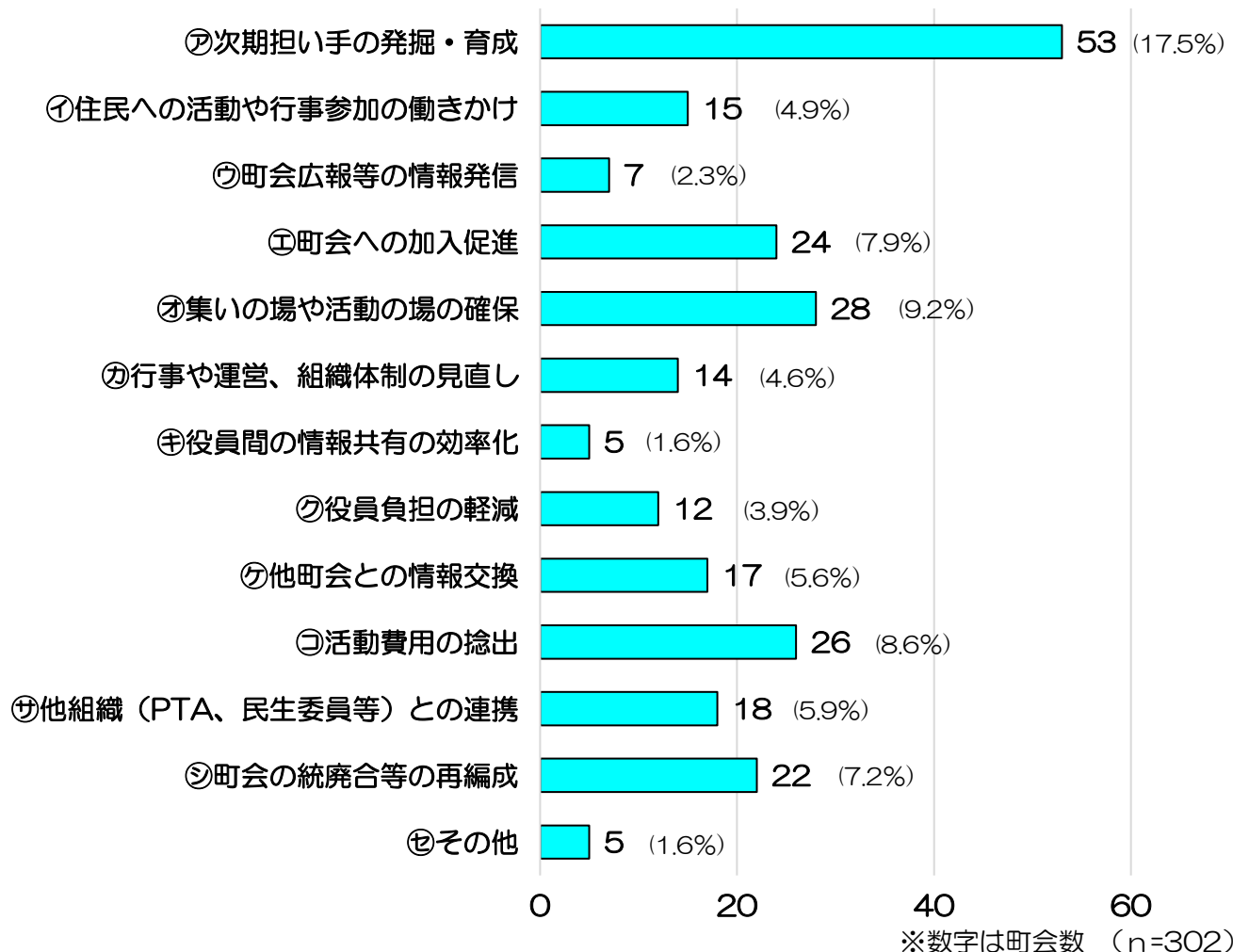
◆その他

- ・小学校での避難所開設・運営訓練
- ・女性部と老人部の組織作り
- ・子供参加の行事と財源の確保
- ・町会行事の見直し

調査結果から

- ◆ 「次期担い手の発掘・育成」、「住民への活動や行事参加の働きかけ」を特に力を入れて取り組みたいと挙げる町会が多くなっています。次いで、「行事や運営、組織体制の見直し」、「役員負担の軽減」の順に多くなっています。

問14-3 問14-1で、「市に支援してほしい」ということについて教えてください。(該当するものすべて選択)



◆その他

- ・「御膳水」の復活
- ・災害時のための個人情報開示
- ・小学校での避難所開設・運営訓練
- ・地域内の崖崩れの補修
- ・民生委員の活動費増額

調査結果から

- ◆ 市に支援してほしいことは「次期担い手の発掘・育成」が最も多いという結果でした。次いで、「集いの場や活動の場の確保」「活動費用の捻出」「町会への加入促進」「町会の統廃合等の再編成」の順で多くなっています。

5. さいごに

問 15 貴町会で、実施して効果があった取組み（活動への参加者が増えた、加入者が増えた、役員の負担が減ったなど）がありましたら教えてください。

《効果があった取組み》 ◆ラジオ体操やレクリエーション活動など ・町会での「作品展」「レクリエーション」。 ・夏休みのラジオ体操は継続することにより老若の交わりの場となっている。 ・地区の小学校の周年事業では町会の力が大きく有難いと思った。 ・高齢者の健康維持とコミュニケーションの場作りに、グランドゴルフ同好会を設立。週3回プレーしているが、他の地区からの参加者も町会に加入してもらって一緒にプレーを楽しんでいるとともに、町会行事への積極的な協力者にもなっている。 ・コロナ禍前は会員や親睦旅行等の人数も増加したが、コロナ後は減少した。 ・夏休みのラジオ体操（7月22日～28日まで）。赤ちゃんからお年寄りまで参加している。参加賞を奮発し、町会の友好を深めている。 ・花育で運動が定着して恒例化しつつある。昨年からラジオ体操が復活した。 ・小学生以下の子供が参加できる活動への援助、協力、入学祝金、ラジオ体操、夏祭り、もちつき大会。これらを通して若い世代が町会活動に目を向けてくれることを願っている。 ・年に2回、町会員によるレクリエーション（日帰り旅行）を楽しみにしている。 ・町探検ツアー 町内をウォーキングしながら防災・美化など考慮して探検終了後公園にてランチをする。 ・納涼祭とボウリング大会 子どもを取り込んだことで、保護者の参加（若い世代）が増加した。 ・ラジオ体操については子どもの参加が少ないが、高齢者の参加が増加した。 ・各行事の関心が高まり参加者が増えた。案内文・広報・口コミ（良い評判）なのかわからないが、いい傾向である。草刈りやラジオ体操の参加者が以前より増えた。 ・コロナ禍前は24年にわたり毎年①ラジオ体操②ねぶた運行③納涼祭を実施してきました。他町会を巻き込んで実施してきました。また復活できれば良いと思っている。 ・町会の研修旅行は参加者が多く、充実させていきたい。 ・グラウンドゴルフの参加者が増えた。 ・コロナ禍は中止していた新年会を温泉施設で行ったが好評であった。 ・河川清掃への参加者が増加した。（河川清掃の実施状況等周知した成果と思慮する。） ・コロナ禍でも子ども会のラジオ体操を継続して行い、町民間（高齢者、小学生、幼児など）の交流が行われていたこと。役員の努力があります。 ・町内団体との懇談会を開催し、互いの理解と交流が少しずつ前進していると思う（定期化を目指したい）。

◆納涼祭、夏まつり、ねぶた運行など
・ 小学校の夏休みに合わせて行っている納涼祭り。親子連れが増えてきた。
・ コロナ禍で 4 年間実施できなかった夏祭り（子ども・大人とも）を久々に実施し、それなりの参加者があった。定例の行事を実施することで、町会活動への関心が高まることを実感。
・ 町会の集い（バーベキュー）。昨年この事業をきっかけに加入者（世帯）が増えた。
・ 8 月中旬に町会納涼祭（バーベキュー）を会費無料で実施している。 新しく町会内に家を新築した若い世代の人たちが家族で参加し親睦深める機会となっている。 普段、道路で出会って気軽にあいさつできるようになっている。
・ 町会ふれあい祭り（毎年実施） もちつきを実施、そのおもちで雑煮、おしる粉等で町会員同士の交流・懇親を深める。年々参加者が増加。今後も継続したい。
・ 夏祭りに役員以外の方が多数協力してくれ、また参加者も増えた。
・ 数年前に公民館前の広場で夏祭りを開催。多くの町民の協力のもと盛況であった。町民の町会活動への理解が高まり、役員の負担も減ったと実感した。
・ 夏祭りの開催。
・ 夏に納涼祭りを開催している。約 250 名の参加あり。
・ 子ども会の流しそうめん、クリスマス会など
・ 地域の公園で夏祭りを毎年実施しています。子どもと老人が主人公です。
・ 納涼祭、町内清掃でお隣さんの親密さが増した。
・ 夏まつりのステージイベントで、地域の高齢者の方たちに楽しんでもらえるようにプログラムを考え、直射日光を防げるように、大型テントで客席を全て屋根付にしています。
・ 隔年で実施しているねぶた祭り。
・ ねぶた運行を行う際に、集まっていたいただいた方々が、現在の町会運営役員になっています（全てではありませんが）。地域コミュニティにはまつり事業が有効です。
・ ねぶた運行。夏休みの子どもたちの行事。
・ 子ども会の復活、特にねぶた運行。年数回の活動で町会が活性化される。
◆地域の保全活動（清掃、草とり、リサイクルなど）
・ 歩道の草取りを令和 4 年から始めたところ。3 年目の今年は、直接声をかけていない役員以外の一般会員が 3 名参加してくれた。R4 年 10 名、R5 年 8 名、R6 年 13 名の参加。作業もはかどった。（きっかけはコロナでお祭りができなくなったので、何かしなければと思い、始めた。）
・ 公園の清掃奉仕や河川清掃などを町会長自ら率先して行ったことが、参加者の増加につながった。
・ リサイクル、資源ゴミ再利用の意識向上。
・ 春、夏、秋の町内清掃に多数の参加があり大助かりである。
・ 町内清掃は、現状維持で取り組みができているのでいいと思う。
・ 毎年の春の清掃の際には、多くの参加があり助かっている。
・ 農家が多いので用水路や農道の空き缶拾い、ごみの収集ほか。

◆地域の保全活動（清掃、草とり、リサイクルなど）
・春、夏クリーン大作戦 春の大掃除、夏の大掃除など小さな町会民の事業ですが6年間実施してきました。町会民の参加人数も増え、小さなことから町会民の関心度を引き出し進めていくことが、今できることだと思っています。
・7月に農道の清掃を行ったところ、29名の参加。来年は春・秋の2回を予定しています。
・地域資源保全会活動への参加者が増えた。
・町内の草刈り・清掃・墓地の除草。
・年間のリサイクル活動の実施。
・側溝の泥上げ清掃を日曜日に実施したところ、20人位の人々が参加してくれた。最近ではもっとも多い人数であった。
◆情報発信（町会だよりの発行や回覧板などの活用）
・町会ニュースの発行、町会未加入者へのアプローチ。
・町会便りを作成し、各家庭に配布。当初はあまり関心を持っていなかったが、今年で三年目。配布を楽しみにファイルに閉じている人、他の町会の人に見せてPRしている人がいるそうです。…反対を押し切って発行して良かった。
・〈町会通信の発行〉町会の取り組みや現在の様子をリアルタイムで伝え、共有することで、町会運営に関心を持つ人が増えたと思う。
・町会の実施事業の内容を回覧板等で周知する。
・町会広報などによる情報発信。
・74世帯の小さな町会ではありますが、2019年から毎月1回「町会だより」を発行しており、毎月町会の動きや伝達事項を掲載しています。約50%の町会加入者には各家庭へ配布し、ごみ収集場や掲示板へ貼り出しています。
◆市の事業等を活用
・町会活性化または町会費負担軽減のため、市の補助金を活用した取組（1）掲示板設置等事業費補助金の活用（2）ごみ集積ボックス設置事業費補助金の活用（3）町会活性化支援補助金の活用
・市職員による学習会（1）メゴイカ利用について（地域交通課・弘南バス）（2）危険ごみ・ごみ分別について（環境課）
・出前講座をお願いして10年になる。年1回の講座で参加者数も少なく相変わらずであるが、世情に促した内容で大いに勉強になった。
・ごみ問題について市へ依頼し学習会を行った。集合ボックス等へのごみの分別など、役員が積極的に活動を行い、マナーのチラシ等を掲示したところ改善した。
・長い間未舗装の生活道路を舗装する様に提案して、生活環境が良くなった事。
・ゴミ箱を整備して設置した事によって、分別、曜日が守るよう改善された事。
・ゴミ収集枠の導入 ※カラス対策
・町内サークルづくりの奨励 ※2グループ誕生（高齢者健康づくりグループ、生涯学習グループ）
・広報ひろさき配達協力員制度の導入 ※430世帯を4名の協力員で対応

◆市の事業等を活用
・ごみ集積 BOX 導入により、カラス被害が減少し、負担の軽減に繋がった。 ・市民協働課との連携でプロジェクトを実施中。 ・長年カラス被害に悩まされていましたが、ゴミ集積所（2 か所）にゴミ収納枠6基取り付けから、解消することができました。 ・出前講座での研修 ・消防団と協働で側溝掃除 ・町会民によるゴミ拾い活動 ・市民協働課の支援を受けて、町会組織と別な組織を立ち上げイベントを実施した。初の企画だったが多くの参加者があり大いに盛り上がった。 この企画に携わったスタッフは、企画や運営等、今後役立つ機会になった。 ・町会夏まつりに大学生のサークルに声がけし、イベント予算が抑えられた。 ・夏まつりに消防ポンプ車の展示を行い、小さい子どもたちが興味を示してくれた。
《負担軽減になった取組み》 ◆活動・組織の見直しなど ・持ち回り会議（役員会）を実施し、役員の負担を極力減らしている（会長が各役員を訪問し、意見を聞く）。 ・町会合同で、児童の育成とその家族との親睦を図り、ラジオ体操・町内祭りなどを行っている。その他、町内外の情報収集をすること。 ・年次総会への出席者は役員だけでしたが、数年前から区長会と総会を同時に開催することにより、最近では毎年 25 人（全体は 123 世帯ほど）の出席となっています。 ・夏休みのラジオ体操は主に小学生親子の出席でしたが、昨年より一般の方々の参加を促し、健康と交流の場にしています。 ・組織体制の抜本的な見直しが重要だ。 ・20 年程前から、町内の夏祭りのビアガーデン運営を、青年会を組織して全て委託した。4～5 名から始まった町内の盛年会と名付けた組織の人数は、現在は 30 名近くになり、町会事業に協力してもらえる体制が整った。役員の後継者不足に大きな不安はなくなった。 ・広報等の各戸配布は町会長→班長→各戸へ配布していたが、各戸の引き取り方式に変更し、負担を軽減した。 ・女性部長の交代により、春の交流会を開催。広く呼びかけたところ 2 名の方が新しく参加した。 ・町会役員に女性を 2 名入れた事。 ・各班の班長を町会の役員とした。班長に役割をお願いした。ゴミボックスの係や墓の係、地藏様の係など班長は 1 年交替である。 ・ゴミ袋を町民会館に取りに来てもらった。連絡員の負担を軽くした。（年 1 回にした） ・「宵宮かぐら」の実施方法を見直した：役員の負担減、資金の減。 ・総会後の懇親会を中止、折詰・酒宴の中止：役員の負担減、資金の減。

《負担軽減になった取組み》 ◆活動・組織の見直しなど ・町会費の徴収を研修センターに持参（日時を決めて行っている）にしたことによって、班長の負担を減らすことができました。高齢の方が多いのでかなり有効でした。 ・夏祭りがマンネリ化したため、昨年から小学校の校外班を中心にメンバーを変えたらアイデアや斬新な催しが多くなり、集客数が増えた。 ・清掃活動等で、以前は1ヶ所に集合してから、あいさつ等を行った後に活動していたが、各班に事前にゴミ袋を配布する等、無駄な時間を極力省略する事で町会員に喜んでいただいた。
《その他》 ・町会加入について一言、言葉掛けをする。加入者が増えた。 ・みんなの居場所語り場…この事業を行ったことで、活動への参加者が増えた。 ・ごみゼロの日5月30日…この事業で例年の自治会行事として定着している。 ・集会所にて高齢者中心に集う会開催。女性副会長を中心に女性役員、民生委員等が協力している。 ・自主防災会の運動。 ・5年間負担をお願いし、集会所を新築したことは、大変なこともあったが、今となっては良かったと思っている。 ・効果があったことは、早朝作業である。毎月1回は実施している。 ・若い世代（子が学齢期）の参加増のため、小中学生対象の活動を増やしている。近年なぜか、校外班などの組織がなくなり、学校と地元との関係が非常に希薄となった。例をあげると、学区ふれあい講座などでは、総会のみ招集され賛助金を拠出するが、活動に単位町会が関わる機会は全くなく、町会を意識させる内容とはなっていない。そのため、町会活動の際は、その都度、学校に赴き、学校に負担とならない範囲で、子どもと保護者が一緒に活動できる町会行事や地域行事周知を独自に依頼し、学校と連携し成果を上げている。 ・親子の活動に力を入れ、あらゆる活動について若い人たちが参加しやすい場所にすること。 ・神社の宵宮での若者の出店、カラオケコンサート、歌手を招いてのコンサートで、町会への親しみが増した感じがする。 ・世帯数が少ないため、ほぼ顔見知り。総会や敬老大会等各家庭を町会長自身が訪問。出席をお願いし、多くの方が集まってくれている。 ・総会、納涼会など個別にあたって参加者を増やしてきた（広報、回覧だけでは不足）。 ・ラジオ体操の参加者増のため、町会長自らお願いして回った所、高齢者の参加者が微増したようです。 ・宵宮に合わせ神社内の集会所のリフォームを実施。柿落に地域のバンドを呼び集会所の見学も実施。チビッコのヨーヨーつりも実施したら人が沢山来た。回覧でお知らせして良かったと思う。 ・組織会の実施 ・大人と子供の合同活動 ・ふれあいの集い ・防災講話&防災、避難訓練 ・花いっぱい運動。 ・子供参加の企画があれば参加人員は割と増える。

問 16 貴町会の PR ポイントや特徴的な取り組みがありましたら、ご記入ください。

◆イベント・取り組み
・グランドゴルフ同好会の活動。4～11月は週3回の練習試合を行い、対外試合にも参加している。 ・老人クラブが春と秋の2回、温泉地などへ研修旅行をしている。 ・公園、花壇を守る部会の設置。緑化事業への参加。
・町会創立記念式典と祝賀会・記念誌の発行・市ねぶた合同運行への小型組ねぶたによる参加。 ・夏休みに行う納涼祭を30年以上継続しており、町会の皆さまと年に一度、親睦を図る大切な行事となっている。町会費を利用しているので、低料金でお年寄りや子どもたちにも大変喜ばれている。この祭を準備・手伝いしてくれている方たちが、そのまま町会の役員も引き受けてくれている（8割が女性）。
・細々とした話題、町会ニュースの発行とSNS同時発信。
・町会内の小学生宅に、節分の豆まき（鬼面付）を配付。 ・歳末、お正月用切り餅（1Kg）を配付。
それぞれの年代を対象とした行事を考えている。 ①夏休みラジオ体操（主に子どもたち、その親や祖父母も） ②敬老の集い（75歳以上の方々） ③秋祭り（親子） ④町会親睦レクリエーション（子どもから大人、高齢の方まで） ⑤新年会（大人）
・地藏尊の宵宮、夏休みの朝のラジオ体操、夕方の火の用心は町会と老人クラブが力を合わせて実施し、喜んでもらっている。また、年に4回の再生資源回収運動は婦人部が主体となり町会が協力している。子どもから老人まで安心・安全に住める町会でありたい。
・町会だより（広報活動に力を入れている） ・毎月、会長の活動状況を公開している ・町会独自の回覧板発行（役員間、住民向け）
・敬老と育成と同時に行なう。輪投げ、射的、ビンゴ、焼肉など。町内が明るくなった。
・2か月に1回、資源ごみリサイクル運動を行っており、表彰されたこともある。
・厳密には町会組織ではありませんが、地域の方々が参加している「歴史探偵団」があります。コロナ前は神社の例大祭（宵宮）の日に、1%事業で「けの汁の振舞い」を行っていました。コロナでしばらくお休みしていましたが、来年は復活したいです。大鍋で干食の振舞いに多数の方々が行列を作る賑わいとなります。
・集会所、神社、幼児公園を活用して行事を行い、会員と家族が気軽に参加出来る体制にある。 ・投稿箱を準備し会員の意見に耳を傾けられる体制にある。※実際は、行事への参加率が極めて低く投稿も数件のみ。
・納涼まつり。
・ねぶた、雪灯籠製作。
・町会誌の作成（50周年）。

◆イベント・取り組み
・毎月一回、老人クラブで町会内の神社の草刈と清掃をしており、毎回12～13名が参加しております。
・ねぶたを通して、町会活動の活発化を図ってまいりました。今後も続けていきたいと思いますが、何をしても次世代の担い手を育成していく事が課題です。
・コロナが流行して4年経ちましたが、縮小しながらでも町会のまつりを続けてきました。子どもたちからお年寄りの方からも楽しんでもらいたい企画です。昼食も無料で作ります。
・老人会との共同イベント。
・親睦旅行及び公園まつりの実施。
・老人部、婦人部、青年部の行事。町会内での役割分担がうまくいっている。
・毎年度末に町会加入全世帯にごみ袋等（グリーン2束、透明1束、マスク1箱）を配布（町会費納入への見返りとして）。
・高齢独居者に対する役員による定期的訪問、見守り、情報伝達、全役員で高齢者の生活状況の情報共有、支援体制強化。
・年4回程、町会だよりを作成し、毎戸に配布している。
・除雪、街路樹の伐採、道路の穴補修等、住民からの要望については、現地確認後すみやかに市へ相談しに行くことにしております。市からは現地確認をしていただき、問題解決への対応に深く感謝しております。
・毎年ねぶた祭りに参加している。
・市の町会活性化支援補助金などを活用し、年々減少していく子どもたちの為の活動を増やしている。幼い頃から町会事業に接する機会を設け、将来町会役員などの協力などにもスムーズに取り組める環境を整えるために、ラジオ体操、公園ゴミ拾い&町探検、餅つき大会の三つの行事を子ども会の中心行事として行っている。
・カラス対策事業として町会内全部にゴミ集積箱を新設置した
・健康づくりのサークル活動を始めた。
・公園、道路側溝、河川清掃等出来る範囲で行っている。
・奉仕の対価として、ゴミ袋、飲み物等を配布している。
・町内で年に一度、子どもねぶたを運行している。
・サマーフェスタ（7月）・菊花展示会（11月）・新年子どももちつき会（1月）
・当町会内や隣接地に、小学校が1校、中学校が2校、高等学校が2校あり、商店街のまつりや宵宮などに極めて多数の児童生徒が訪れ賑わう。防犯や安全対策の一環として、宵宮や祭りの際は、町会役員によるゲームやくじ引きブースを設置し、声かけをし交流を深めている。
・会議や行事は文書や映像に残し、情報・知恵の共有を行い、町会を故郷と感じ、地元の未来を担う子どもの育成という目的を役員一同共有している。町会員も担当者も、両者楽しく満足する町会の活動を目指している。
・高齢者の健康と話し合いの場として軽体操を実施。
・児童公園に、老人のための散歩コースと健康器具が整備された。
・宵宮でのカラオケコンサート。
・町会広報誌の発行。

◆イベント・取組み
・再生資源回収運動の継続実施。 ・過去に関係団体より表彰実績あり。
・コロナ前は夕方に行っていた夕涼み会を、昨年の猛暑をきっかけに学習センターを活用して日中に行うようになり、参加者が増えた。夕涼み会（7月末）と新年会（1月中旬）をメインに、町会員の親睦交流が盛り上がるよう計画を実施している。
・毎年、初午の日にしめ縄をつくり、神社へ奉納している。
・毎月第3日曜日を「清掃の日」として毎戸配布で参加を呼びかけている。
・町会だよりをB4版で年24回発行し、町会未加入世帯にも配布（防災上必要）している。 ・ごみ集積所は毎週当番制（輪番）で清掃を実施している。
・ごみ集積所をプレハブ化し、再生資源置き場（リサイクルステーション）、掲示板、広報置き場に活用している。 ・募金を止め、すべて町会費として予算化。報償金活動を増やし、町会収入とすることで町会費減額を実現。
・毎年8月16日に納涼祭を行っています。コロナの時期には中止していましたが、昨年から再開しました。役員も町会員も楽しんでやっています。
・中心部に児童公園があり、ラジオ体操、草取り、納涼会等行事を開催する場所となっている。
・今年は新小学校1年生がいないので配布はなかったが、新入学児童へ「ちょっぴりプレゼント」をすることにした（学習に必要な物品等およそ2,000円位）。
・年1回納涼祭の開催で町民の親睦を行っている。子どもの参加が多く、大変賑わっている。
・災害（防災）や健康に関する情報を発信して会員の共助体制を訴えています。
・子ども達が長期の休み（夏休み・冬休み）の時に「おたのしみ会」を行っています。スケジュールは前半は大学生に子ども達の勉強、後半はゲーム（身体を動かす）を行います。昼食（夏はカレーそうめん、冬は餅つき）後、解散。
・季節に合わせ、行事を計画している。 ・子どもの数の減少にともない夏のラジオ体操は他町会と合同で実施している。
・花見会：毎年4月から5月に実施。 ・再生資源回収運動：毎月1回実施。
・地区運動会の後に町会で昼食会を開催しており、子ども達や保護者等が参加している。
・夏祭りの開催。
・花いっぱい運動13年、再生資源回収年2回10年、金魚ねぶた制作講習会11年、ねぶた運営50年、盆ねぶた11年、役員会6回、敬老大会運営13年、親睦レクリエーション「ニジマスつかみ取り祭り」31年、文化作品展6年、ゴミ集積ボックス32か所更新10年、防災訓練9年、防災士育成23名。
・町会団体で「若妻会」の活動をしている。
・5年に1回の大祭。
・さくら祭り、あじさいまつりを開催しています。
・子どもと取り組むイベント。
・コミュニティ助成事業費補助金交付による町会活動の充実。
・町内の草刈り。

◆イベント・取組み	
・集会所にプロジェクターを設置、会議の議題をパワーポイントで可視化し、協議内容はICレコーダーで発言を記録、そこから議事録を作成し役員へ配布している。	
・会議や住民の声を台帳に記録し、その進捗・結果を記録保管していること。	
・自治体への要望項目はできる限り文書にして要望し、結果を町会だよりで知らせている。	
・子育て世代を中心にした「青年部」が今年度からスタートした。現在 30 名が登録されているがこれを 50 名程まで増やして今後の町会運営に寄与させたい。	
・ねぶた子供会、夏祭り。	
・神社があり、氏子として町会から交代で役員を選出している。	
◆人・交流	
・役員それぞれが、自分の任務（役割）をしっかりとこなしてくれている。協力的である。	
・児童公園の草刈・清掃で、町会老人クラブとの協力関係があり、今後も継続していきたい。	
・協力的な人が多く、とても助けられている。	
・町会内の環境美化に努め「きれいな町会」をイメージさせることで、一人でも多くゴミを拾う人が増えてきていると感じる。	
・全役員が新人のため、今後に期待するところです。	
・町会と商店会の協力。	
・歴史ある伝建地区と保存協会との連携。ねぶた運行や製作の時間にて町会民の情報共有と親睦ができてるのは、この町会だけと思っています。	
・若い町会役員参加 取組中。	
・児童部の活動に若い人が参加しています。	
・町会長が1ヶ月おきに変わることに。	
・町会で助成金を出している関係団体と、年2回会議を行い情報交換している。	
・町会内の清掃作業に多数の参加者がいる。	
・若い世代が積極的に町会行事をしていること。	
・学区5町会の結束がある。	
・元青年部（現在の役員たち）のつながりが良く、現在の町会を保っています。	
・今年度の役員改選で平均年齢は50才代になったと思います。役員になってくれた方は消防団、公民館、子ども会等ほかの役割と兼務していますが頑張ってくれています。	
◆環境	
・市役所、弘前公園、大学病院など、公共機関が近い。学校、お寺さん、税務署なども。	
・忘年パーティーは参加者が50名～70名で最大のイベントです。	
・町内に寺と神社が有り、静かで安心・安全なとても住み良い町です。ここ3年程、地区での敬老会が開催されないの、町会単独で対象者に祝葉を配布し喜ばれています。	
・地理的に通過車両のない地域であり、近隣町会民も含めて散歩コースとなっている。その利点を生かして掲示板で情報発信する効果は十分期待できる。町内にある3つの公園を含めて4～5か所への掲示板設置が有効と考える。設置費用への支援を期待する。	
・町内には小学校、交番、消防署があり、安全安心面では恵まれていると思います。	
・自然が豊か。	

町会に関するご意見や、町会活動を行う上で日頃思っていること、町会長をやって良かったと思うことなど、自由にご記入ください。

◆少子高齢化・人口の減少・担い手不足・住民の関心不足
・町会長になる人がいない（役員も）。町会に対して関心がない人が多い。
・後期高齢者が多い町会のため、町会行事に参加者なし。義理で役員さんが協力するのみで、一般町会員は関心がない。何年か後には、町会がなくなる可能性があると思う。
・年々、世帯数の減少（町会加入者の減少）が続く。
・子どもの減少。子ども達への対応が出来ていないことへのジレンマあり。
・独居高齢者が増加しており、災害時の対応が懸念される。
・月に2回、市からの広報と併せて町会からの情報提供を行っていますが、読んでいる人は少なく反応も薄いので町会員の方々が何を考えているのか、何を要望しているのかわからないことが多くあります。しかし、町会費を頂戴している立場から、常に情報発信を継続し、町会の動き、計画、予定、結果等を伝えていくこととし、何もしない町会だと言われたいよう心掛けています。
・町会員の高齢化が進み、1人世帯や老夫婦2人世帯が増え、町会の活気がない。
・役員・理事の高齢化、担い手不足。
・町会の仕事（役員）には関わらない、関わりたくない住民がほとんどです。町会運営が縮小される事になります。
・役員会開催の都度若手（60代～65才代）の推薦をお願いしているが反応が余りない。今後回覧板で、役員の募集をかけたいと思います。
・町会規模が小さい上に、高齢化が加速化している。町会の運営・組織の抜本的見直しが必要。
・核家族化、高齢化が顕著となっている。町会活動のDX化（広報、お知らせ、回覧板他）もいずれ取り組む必要があるが、現時点では難しい。（若い世代の町会員からはDX化による負担軽減も要望されている）
・今の町会は、昔のように「となり組」という意識は無くなっており、となり近所での助け合いや協力などの必要性が希薄になっている。
・古くからの住民の高齢化と、新居を構えた世代は共稼ぎで、役員の引き受け手が見つからない。コロナ禍で行事を行えなかったことも一因であるが、町会活動に対する一人ひとりの考え方が時代と共に変化してきている。
・若い人に町会長をいつもやってほしいと思っている。しかし、なかなか候補者がいないのが現状である。
・町会の役員が高齢者多数の為、次の役員を補充するのに苦労しています。
・高齢化、少子化が進行する中で、高齢者を対象に町会活動を移行していく必要がある。
・町内の高齢化が大きな課題です。高齢者が安心して暮らせる町内を目指したいと思います。
・今後、若い世代の担い手を発掘することが課題です。
・町会行事等の参加は高齢者がほとんどである（女性の方が多く参加している）。

◆少子高齢化・人口の減少・担い手不足・住民の関心不足
・高齢者が増えていき、次の役員の選任が無理な状況です（70歳以上が60%）。
・町会長の選考で悩んでいます。
・町会役員の高齢化が進んでいるが、時期役員の成り手がいない。
・町民の高齢化が進み、行事やイベント情報を発信しても関心が低い。
・役員の高齢化が心配であり、次の成り手が見つからない（民生委員含む）。
・町会長をやって良いことはない。
・これからは町会役員や協力者の無償ボランティアは無理だと思う。今の若者は町会に興味や協力する等は考えていないのではないかと。色々と説明したり誘っても興味をもってくれない。支援したいが無償では誰もやる気にはならないのではないのでしょうか。町会組織があるのは分かるが、組織に入りたくない気持ちは大である。
・高齢者の世帯、独り世帯の増加が進行していく中、活力のある町会活動を構築することで、後を担う役員に期待を継いで行きたいです。
・高齢化は避けられない為、次世代の人が現在の3分の1以下となれば、事業はどうなるか、町会として成立するのか疑問。
・役員（特に副町会長…次回は町会長になる）の成り手を探すのが大変である。
・住民の高齢化が進み、班長をお任せ出来ないことがあります。各種寄付金の集金等に影響があります。
・1人世帯が多くなっており、今後の町会活動があまり出来ないと思い心配です。
・年々高齢化が進み、町内の活動ができなくなっております。
◆町会加入について
・アパートの町会加入がゼロ、町会の全世帯の4割位が町会に加入していない。町会に対して無関心の人が多い。
・人との関係が薄くなっている。新しい町民が来ても無理に加入を勧められない。
・町会加入のメリットが見えず、町会費を負担しているだけ（町会未加入でも困らないのでは）。
・加入者を増やしたい。アパートも多く、子どもたちも未加入世帯に多いので、会員の負担はできるだけゼロとしたい。
・町会住民100%の町会にしたい。
◆町会費・活動費について
・町会の人数が減ってきている。町会費が少ない。子供が少ない。（赤十字、たすけあい、小学校、中学校）寄付金が払えなくなっている。旅行も中止しました。民生委員もいない。財源が少ない。行事をやれない。
・町会費の見直しをしたいが、資金不足になる恐れがある。（一人世帯の町会費減額等）
・神社の管理を町会で行っているが、樹木が大きくなり、付近に迷惑をかけている。しかし、資金不足で伐採が難しい。
◆活動場所について
・町会事業の中心となる集会所ですが、老朽化が進み、建て替えの為積立金を徴収して、市からの補助金と合わせて新会館の建設を進めていこうと思っていた。しかし、物価高騰の為当初予算より高額になること等の理由により、先の見通せない状況となり困っている。

◆活動場所について
・毎年、町会の総会を開くにあたり、町会の集会所が無い為、近くの市の施設を借りて行ってきた。近年は快く貸してもらえず、住民が怒っている所以来年度からは借りない事にした。
◆世帯台帳について
・町会活動及び防災対策活動のため、町会全世帯員の名簿の配布をお願いしたい。 ・個人情報保護の関係で世帯台帳を作ることができないので、運用面で改定できないものか。1人暮らし高齢者などの把握も困難。
◆統廃合について
・町会の継続が難しくなると思うので、町会の解散の進め方はどのように行っていくのかを考えていかなければと思っている。土日忙しく町会長をやって良いとは思わない。 ・自町会は新興住宅地で近所付き合いはあいさつ程度。町会役員の成り手はよほどの物好きでないといない。私は喜寿を過ぎ、次の方へバトンタッチしたいが、現在の役員に何度頼んでも断られている。数年前に町会の役員が辞めた際、次の人を求めて町内中を頼み回ったが見つからず、町会長が兼務している状態である。今年中に役員の成り手を探し、いなければ再来年に町会解散を提案しようと思っている。
◆民生委員について
・民生委員の選考を依頼されていますが、なかなか引き受け手がなく困っています。 ・民生委員の成り手がない。次期成り手の見当が付かない。民生委員との情報交換の場を行政が企画して連絡調整が密になるようにしていただきたい。民生委員は町会からの推薦になる訳ですが、そもそも民生委員の職務内容についての十分な知識がなければ、次の民生委員候補の方に説明できないし、説得力がないのではないのでしょうか。「町会に預ければなし」「現場の悩みをどれくらい知っているのでしょうか？」そんな感じすら覚えています。 ・日々、民生委員について疑問に思っています。 民生委員の仕事内容が、高齢者や働き世代には出来ない事ばかり、負担が多過ぎます。人の善意のみ頼るやり方で、推薦、お願いは到底出来ません。 ・民生委員等、市の事業で必要とする各種委員等のうち、町会（長）の推薦を求めるものがある。これに対応するには新しい人材を発掘するか、役員に依頼することとなる。市よりも町会（長）のほうが町内の世帯情報に詳しいとの考えから依頼があるのかも知れない。確かに個人情報の保護が現在よりも厳しくなかった過去においては、町会で世帯台帳を管理していたと聞いている。しかし、現状では町会（長）も町会員相互においても他世帯の情報を知らないため、新しい人材を見つけるのは難しく、結局役員に負担を負わせることとなる。これらの負担を軽減するため、市で調査し新しい人材に声がけし、そのあと町会から推薦や意見を求める方法にしてもらいたい。 ・民生委員のいない地区が多々あると聞いておりますが、我が町会も令和7年11月末で二人の民生委員が退職すると聞いております。町会長が推薦する現在の制度では町会長の負担が非常に大きい。行政で推薦するか、活動費を増額するか別な方法を考えていただきたい。 ・民生委員の負担を軽減してほしい。

◆ごみについて
・町内にある街路樹の下にゴミ箱（小箱）を2か所設置した。長年ネットの使用でしたがカラスに散乱されその掃除が大変だったので、小箱の設置は地域住民からかなり評判が良かったです。大きな箱は景観上、不可としていますので今後もよろしくお願い致します。 ・ゴミ収集について、旧市街地は個々の住宅前にゴミを置いています。効率が悪く経費もかかります。平等な市民サービスを望みます。 ・ごみ置き場の管理において、近所のお年寄りが自主的に清掃に協力してくれて助かっている。 ・他町民が町会のごみ箱に分別収集日に関係なく不法投棄する。また犬猫等による糞の被害もあり、今後動物愛護税の検討も必要か？
◆防災について
・防災について意識が低い、町会では無理なので連合町会で組織できないものか・・・と思っています。
◆町会の状況
・各種行事を計画、開催しても参加者が少なく、特定の人参加が多い。今後は更に参加者を増やすよう役員一同働きかけて行く事です。 ・意見など、気兼ねなく言ってくれる。 ・徐々に町会に対しての不公平感が是正され、今まで活動に関わらない人達が目を向けるようになってきている感じがする。 ・町内に年配者が増えている事。 ・児童達が良く活動してくれるので助かる。 ・少しずつ町内がまとまりつつある。 ・運営上、人手不足以外は特に問題が無い。 ・町会便りを発行した事により、少しずつ考えが浸透してきている。 ・高齢化が進み、役員が年々不足している。 ・役員が協力的に運営していることが良い。 ・長い間、町会のモットーとして朝夕の声がけ（オハヨウ、コンバンハ等）が習慣になり皆が声をかけるようになった。 ・熱心な役員のおかげで行事や会運営がスムーズにいったいる。ただ総会においては自己主張や同じ意見のゴリ押しなど自己中心的な会員がいて、役員のやる気をそいでいる。この場合厳重に注意しているが、改善がみられない。 ・みんなが幸せに過ごせるように、特に高齢者と子ども、町会の人々とのコミュニケーションがとれるようになった。
◆若い世代・女性について
・町会役員の「女性」「若返り」に取組中。 ・町民が一体となった活動で、若い人に町会活動に参加してもらうことが一番だと思う。 ・町会の役員会に若い世代も参加してもらい、いろいろな意見を聞いていければと思う。 ・少子高齢化により、若い人が町会に住む取組みを実施しているところである。 ・女性の町会長を増やす方策を、連合会としても考えていただきたい。 ・若年層の町会に対する関心を高める取組みが重要。

◆町会長として思うこと（やって良かった）
・地区町会長との交流が図れたこと。 ・市健康づくりサポーターとしても活動している（負担を感じるが）。
・とにかく、町会長は忙しい。当町会のように小さい町会は町会長の仕事が多いので大変です。しかし、町内の人達に感謝の言葉をかけて貰える事で疲れもストレスも飛んでしまいます。今は町会長を引き受けて良かったと思う毎日です。
・町会の住民の状況が分かった。町会員一人ひとりと関わりを持ち、町会の概要、雰囲気を感じとれたこと。町会員の少子高齢化が急激に進み、役員の成り手が無いのが一番の悩み。
・町会長の仕事をしている方と話をする機会が増えたことで、人を知ることができ、視野が広がったこと。
・敬老会の記念品を該当者の皆さんに持って行ったら、大変喜んでくれて嬉しかった。
・町会活動はうまくいっている方だと思っています。役員全員が協力してくれるので町会長として安心していられる。
・多くの皆様と一緒に、笑っていただける事が1番の秘訣であると思っています。
・役員は協力的であり、活動は円滑に推進されている。
・地域住民とあいさつ、会話をする機会が増えたこと。
・当町会の役員は非常に協力的で、町会長としては自由に活動できている。
・町会長をやって、新しい方向性が見えてきた。
・町会民の一人一人の顔が覚えられる。
・町会長をやって地区の会議や、研修、親睦を図る行事に参加し、多くの人との交流を深められている。地区社会福祉協議会の会長も永く務め、ボケ防止になっているとも考えている。
・自分は（町会長を）昨年から担っており、町会活動についてはまだまだ”ヒョッコ”ではありますが、副町会長時代と比べていざ”長”となると、さすがに肩の荷が重く感じます。ですが、幅広く町会民皆様の意見を聞きながら業務をこなしていき、その中で感謝される事柄があると、やって良かったなァ〜と思います。
・日頃の活動や会話を交わすことで、会員から信頼され町会の絆を強めてきていること。
・コロナ禍の町会運営、特に総会では副町会長、役員（評議員）、会計などによる徹底した統率のもとに委任状提出を含め、盛況のうちに終了した事は誇りに思っています。
・役所の人とのコミュニケーションかな。
・多くの方々と知り合うことができ、色々な悩み・良かった事など話を聞く事が出来ました。それらを町会に反映できる様にしたい。我が町会が他町会の参考になればと思います。微力ではありますが任期中は頑張ります!!
・広報や回覧板配布のお願いに行き、普段会わない町会の人たちに会うことができた。
・町会長をやって町民と近くなった気がする。
・町会長7年目。町会長としてやってきたことは町会民も理解し行事の時は協力してもらえ感謝しています。
・老壮青の役員が、各々、淡々と各部の活動、例会（月1回）等責務を果たし、役員会で報告をしているので、特別何もしなくても、次世代にいつでも移行できると確信している。
「人の為に尽くす」という理念を、町会役員が自覚し、本当のボランティア活動に徹している。町会長としてこのような役員に囲まれて活動できることが毎日楽しい限りです。感謝しております。

◆町会長として思うこと（やって良かった）
・町会住民のお名前と顔を知ることができる。
・町会事業の実施後、町会の人たちに褒められたこと。
・私自身、発言をして改善した部分もあるので、町会住民にはお礼を言いたいです。
・当町会は、皆様が大変協力的である為、幸せなことにさほど困難な事例はございません。
◆町会長として思うこと（負担感）
・町会長の負担が多すぎると感じる。町会長に就任すると地区町会連合会・地区社会福祉協議会の役員兼務となる。その他に学校運営協議会の委員も兼務。そうなる则かなり忙しい。特に7月は行事が多く、月15日間は何らかの行事に参加している。
・年々、世帯数が減っている。若い世代が郊外に移っている！とにかく空家、廃屋が増えて困っている！ボランティアで、ただ働き！町会長をやって良い事なし！（私費出費多し！個人として大赤字！）
・トラブルが持ち込まれることが多く、ストレスがたまり血圧が高くなった。良かったと思うことより悪かったと思うことが多い。
・住民のコミュニケーション不足によるトラブル（特にゴミステーション関係）の解消や、冬季の除雪苦情への対応が大変負担を感じている。
・前町会長からの引継ぎで町会長として活動している。「町会長は忙しい」というイメージをもたれているが、実際その通り。自分達の町会のほか、地区町会連内の仕事や社協活動など、活動範囲が広く忙しい。町会長としての活動時間に追われ、個人としての活動が出来にくい。当初から町会長、副町会長（2人）の役割分担をもっと明確にすべきであった。町会長のグチで申し訳ありません。
・町会長がすべてに答えなければならない風潮があり、また、実際に町会長が小間使い状態になっている。
・役員に年寄りが多く、パソコンができない人もいて、町会長の負担が多い。
・早くやめたい。
・まだ会社員現役なので、時間がきつい。
・町会活動を行う上で町会活動とは関係ないことでも電話がくる。個人的なことはさけたいと思っています。
・町会長という仕事がこんなに忙しく、大変だと思いもしませんでした。また、役員達のギャランティにも問題あり。これでは誰もやらなくなるのが目に見えている。
・町会長としてのあて職が多い。地区町会連、社協、公民館など。
・町会の負担が年々増加傾向であり、対応すべきパワーが無い。資金減少（未加入者・脱退者）により活動範囲が限られ、将来の展望が見いだせない。その町会にあった抜本的な見直しが必要だと感じている。
・町会長になって良かった事などない！
・町会長をやって良かった事は特にない。用事が増えて、今までより忙しくなった。
・前もって役員さんたちに相談し、確認してから諸行事を行うようにしてみた（時間の許す限りだが）。皆さんの理解を得て行くと、快く協力してくれるような気がしている。日々皆さんに感謝です。
・自分なりに精一杯やって来たつもり。そろそろフリーになりたい。

◆町会長として思うこと（その他）
・戦力人材不足で、会長の負担が増えるばかりが今後の課題！
・町会長として町内の仕事だけであればよいのだが、町会連合会の役員としての役割も多くかなり多忙である。次の町会長には負担を減らしてバトンタッチしたいのですが。あと10年は頑張らなければと思っています。
・町会長職を終えたとき感じるでしょう。今はその余裕はありません。
・町会長は長老組織ではダメ！ ・慣例重視で新人会員が意見する場与えられない傾向がある。
・町会長を15年もやってきましたが、この街に生まれて良かったと思える町会にしたいです。ただ、役員の中で80代の方もいてバトンタッチする若い人がなかなかいない。
・町民に行動面、金銭面で負担をかけないようにしている。
・町会長にくるのは苦情の相談がほとんどである。町会内の色々な情報が欲しい。
・これからの一人暮らし高齢者に対する対策に危惧するところです。 ・当町会は通学する小学校を自由選択できるように、活動運営等に不便を感じております。
・町会活動は皆さんが無理せず参加できるようにすることを心掛けております。しかし今年は2月から忙しかったです。区長の成り手が少ない区への対応、役員の改選、公園の物置の更新、ゴミネットの補助申請等々少しずつ課題が解決していきますが、新たな課題がまた出てきます。町会長の仕事を減らしていただきたいです。
・役員に助けられて何とか。それと成り手がいないのでほぼ仕方なく。
・町会長職を同一人が長期間続けるのは不可。活動参加者が限定的になってくる。しかし、必ず参加してくれる人がいるので活動が出来ている。
・町会役員どなたも、素晴らしい力と個性を持っておられ、感動している。ただ逆に苦手な部分に対し過大な不安を持っており、長いつきあいの割に持たれている長所を見つけられないでいる。会議や会議の後の交流会を楽しいものにし「知り合い」となり、お互いが補い合い、知り合いが一杯いて、互いに気兼ねなく助け合える町会にしたい。
・新任の為、何事も初めてで分からず、今後徐々に覚えていきたいと思います。
・今年の4月に町会長になったばかりなので、まだ手探りの状態です。
・住民の苦情を迅速に県と連携して対処しているので、今後も住民に安心してもらえる町会にしたいです。
・昔からの町会で中年層、若者の絶対減少をなんとかしたい。
・（町会長に）なりたてなので、まだ、よく分からず。
・町会長だから町会民の声を聞き事業を前に進めること！言葉では簡単ですが町会というチームをまとめることは大変です。40代～50代の町会民に町会への関心をいかに持たせるか、その年代を次期役員としていかに育成するかが大きな力ギです。
・本当は良くないとは思いますが、町民とはある程度距離がとれているので活動しやすい。町会長前は一般の会社員でしたが、町会の事など色々知る事ができた。ただ、地区全体に言えるのだが、町会よりも地区内の各活動団体、公民館などの活動が知られていない。活動も停滞ぎみである。
・当町会では次世代が育っているので、今の任期（2026年3月まで）が終わったら、全てを引き継ぎ楽になりたい。総務13年、副町会長8年、町会長4年、計25年で卒業です。

◆町会長として思うこと（その他）
・町会長をやって良かったとは思わないけど悪いとも思わない。 ・コロナ明けでイベント自体が少ない。去年はラジオ体操と日帰り旅行（酸ヶ湯）のみ。参加者も固定されている。もう少し、いろいろな世代が参加できる仕組みを作らなければ、と思っています。
◆行政への要望・意見
・今後の町会運営・維持には、町会費の値上げが必要不可欠である。難しいことは周知しておりますが、理解頂けるよう粘り強く周知して参ります。 現在、4 役員（会長・副会長・会計・総務）には手当支給があります（多いとは思わないが）。その他に 4 部長（交通安全・社会福祉・青少年育成・体育）があり、それぞれが計画事業へ携わっているが手当支給がない。会長をしている間に、4 部長へ待遇を検討・実現したいのです。 市にお願いします。町会費の値上げには限界があります。値上げと同時に町会から離脱する世帯も考えられます。これらの事情を鑑み、町会事務交付金のほかに、役員手当支給制度も検討頂きたい。切なるお願いです。最悪の場合は、地区町会連合会からの離脱も検討しなければ…（負担金と交際費が重荷となっている。）。
・市からの文書や指示が多いと感じる。民生委員の成り手が不在。困っている。
・市職員の方々は、自分の住んでいる地域・町会について、どのような活動をしていて、どのような悩みがあるのか、どの程度理解しているのだろうか。一般的に、地域や町会のことに関心がないように感じられる。弘前市のことを、仕事でも私生活でも考えるのはつらいことだと思うが、地域や町会の活動に積極的に関わってほしい。
・我々老人だけでなく、40 代、50 代の現職が自由に町会に係われる様な仕組みを行政でも考えて欲しい。
・我が町会には、市、県、国の公務員さんが（OB がもちろん多いですが）います。町会活動についても、そういう方々が率先してご協力いただきたいところです。
・このままで良いわけではないのですが、アンケートを町会長ではなく住民向けに行ってほしい。
・特定の役員への負担が大きく、成り手がいない。 「会計」の業務は、市にも協力してもらわないと、これからは、ますます町会が成り立たなくなるようになる。
・市役所は覚悟を決め、連合会に頼るのではなく、直接各町会に向き合ってほしい。
・市が町会にお願いする事柄が多いように思われます。
・大方の仕事を町会が請け負うことになる（仕事しながらでは無理です）。市連合会、市民協働課、公務出席、広報配布など仕事を減らしてください。市で住民に直接情報を流して欲しい。結局は家内の負担が増えます（ボランティア扱い）。
・神社及び集会所維持補修等に補助金を出してほしい。
・大きい小さいにかかわらず、町会運営が負担に感じている方が多いと思います。今までと違って会社員が多く、自由に動ける時間がありません。担い手がいなくなり、継続は無理かと思います。連合会で改革を行うことができれば、市民協働課主催の会議等から変えてもらえませんか？

◆行政への要望・意見
・今年、公民館の灯油タンクが腐食し、漏れる恐れがあったので、解体し新設しました。その際、市民協働課へ何らかの補助制度があるのか相談に伺ったところ、付随するモノなのでないとの返答でした。地域住民の集会所なので、補助制度があってもいいと思います。今後ご検討をお願いします。施設の修繕費用や活動費用の捻出、工面、調達方法が厳しくなっています。 ・選挙の投票所がなくなる事、郵便ポストがなくなった事、廃屋の屋根雪が市道に落ちてくる事（市に相談しても何もしてくれない事）。以上困っている事です。 ・以前、市政懇談会に書面で、市の退職者、教育委員会（先生）退職者に町会の役員やお手伝いをしてくれる様お願いし、4年以上になるが誰1人参加してくれていない。
◆その他
・これからの町会の有り方を考え直すことが必要。 ・ガラス張りの会計、無駄使いはしない。広報でこまめに予定や結果を報告している。 ・従来のやり方にとらわれず、客観的な視点で改善することで、住民や町会役員の負担が軽減し、住みやすい町会が実現した。 ・町会活動として夏季・秋季を基本として考えていますが、最近の気象状況から夏季に無理を感じます（高齢者が多いので）。したがって、冬季の活動を考えてみてはどうかと考えています。特に定年延長と共稼ぎ家庭、子供の習い事などにより参加しにくい状態をどうしたらよいか？ ・地区の町会連を通じて、他町会との情報交換はとても勉強になります。今後も他町会での利点などを参考にしていきたいです。
1.町会活動の変革（長年にわたり行ってきた）への意識が上がらないこと。 2.町会の収支決算確認頻度が少ないこと。夏に中間、年度末に最終決算としているが、リスク管理として少なくとも2か月に1回は実施すべきと思っているが、手間がかかる理由から理解を得られない。住民から集めた町会費なので、どう使われたかのチェックをできる仕組みが必要だと思う。 3.「町会運営のガイドライン」的な文書を構築しマニュアル化することが有効。

町会の運営や活動等に関するアンケート調査票

調査の目的

日頃より、市政運営並びに市町会連合会の活動にご協力いただきありがとうございます。

このアンケートは、町会活動の状況を調査し、今後、市並びに市町会連合会が町会活動等の支援をするにあたっての参考資料とさせていただくほか、調査結果を集計し、報告書にまとめてご報告させていただくこととしています。

調査結果は、目的以外に使用したり、個別回答を公表することはありません。

お忙しいことは存じますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

記入にあたってのお願い

- ◆ 記入は町会長ご自身を基本としていますが、町会の他の役員の方とご相談のうえご記入いただいてもかまいません。
- ◆ 自分たちにとっては何気ないことでも、他町会から見ると目新しく、参考になることがあります。選択式への回答のほか、どんな些細なことでも結構ですので、『その他（自由記述）』へのご記入をお願いします。

回答方法・回答期限

ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

8月9日（金）までにご返信くださるようお願いいたします。

ご不明な点がありましたら、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

弘前市 市民生活部 市民協働課 地域コミュニティ振興室

電話 40-0384（直通）

町会名

1. 町会の基礎情報について

問1 貴町会長の年齢は？（元号に○をつけ、生年まで記入してください。）

昭和 ・ 平成 _____ 年生まれ

問2 貴町会長の職業は？（当てはまるものに✓をしてください。）

- ☐ 農業 ☐ 自営業 ☐ 会社員 ☐ 公務員
☐ 団体職員 ☐ 無職 ☐ その他（ _____ ）

問3 貴町会長の町会業務の月間従事日数は何日ですか？

（時間に限らず従事した日数について、当てはまるものに✓をしてください。）

※地区町会連合会の役員を兼務している方はその活動も含めてください。

- ☐ 1～3日 ☐ 4～7日 ☐ 8～15日 ☐ 16日以上

問4 貴町会長の通算在職年数は何年ですか？（当てはまるものに✓をしてください。）

※町会長を複数回お勤めの方は、合計年数を選択してください。

- ☐ 2年以下 ☐ 3～5年 ☐ 6～10年 ☐ 11年以上

問5 貴町会長の選出方法は、どのような方法ですか？

（当てはまるものに✓をしてください。）

- ☐ 推薦（指名推薦） ☐ 説得や話し合い ☐ 副会長が次期町会長
☐ 投票制 ☐ 輪番（当番・戸順） ☐ 抽選（くじ）

問6 現在の町会費を教えてください。※その他は、学生や高齢者の1人暮らしなどで別途会費を設定している場合に記入してください。

- 一般世帯 月額 _____ 円 又は 年額 _____ 円
●事業所等 月額 _____ 円 又は 年額 _____ 円
●その他（ _____ ） 月額 _____ 円 又は 年額 _____ 円
 その他（ _____ ） 月額 _____ 円 又は 年額 _____ 円

問7 町会費の集金方法を教えてください。（当てはまるものに✓をしてください。）

- ☐ 訪問集金（現金） ☐ 銀行振込 ☐ 口座振替
☐ その他（ _____ ）

問8 町会の活動場所を教えてください。（当てはまるものに✓し、活動場所を記入してください。）

- ☐ 集会所（集会所名： _____ ）
☐ その他（ _____ ）

2. 町会運営について

問9 次の中で、あなたの町会に当てはまるものすべてに○をつけてください。

分類	現在の状況	○記入欄
組織・体制	ア 世帯台帳を作成している	
	イ 規約は現在の体制に合っている	
	ウ 各役員の役割分担は明確に行われている	
	エ 役員などの役割についてマニュアルを作っている	
	オ 役員が交代する時には引継ぎを行っている	
	カ 今の役員の次の世代が中心となって活動する組織（～60才代まで）がある	
予算・決算	キ 予算・決算について広く町会住民に周知している	
	ク 予算不足により町会活動に支障が出ることはない	
活動状況	セ コロナ禍前に比べて、令和5年度の町会の活動回数は増えた、または維持している	
	ソ コロナ禍前に比べて、令和5年度の町会活動への参加者数は増えた、または維持している	
町会参加	ケ 町会住民に町会活動の様子をお知らせしている	
	コ 町会住民に行事のお手伝いの募集の案内をしている	
	サ 町会住民の意見や要望を聴き、町会運営に反映させている	
加入促進	シ 町会内に新しく住み始めた人には町会加入をはたらきかけている	
	ス 町会未加入者に対して行事参加の案内をしている	

問10 役員との情報共有方法について、電話以外で用いているものを教えてください。（当てはまるものすべてに✓をしてください。）

- ☐ ショートメール
 ☐ Eメール
 ☐ LINE
 ☐ その他（ ）

3. 町会活動について

問 11 貴町会で現在行っている活動、負担が大きい活動、コロナ禍でとりやめた活動、今後町会で行いたい活動、今後近隣町会等と一緒にやりたい活動、行政機関等で行ってほしい活動について、該当する欄すべてに○をつけてください。

活 動 項 目	現在行っている	負担が大きい	コロナ禍でとりやめた	今後町会で行いたい（復活させたい）	今後近隣町会や地区町会連合会と一緒にやりたい	行政機関、関係団体で行ってほしい
1 住民への連絡（回覧板等）						
2 「広報ひろさき」の配布						
3 市や各種関係機関からの文書の配布・回覧						
4 町会活動の周知（町会広報誌の発行など）						
5 ごみ置き場の管理						
6 再生資源回収運動						
7 河川、道路、公園の清掃活動						
8 生活道路の除雪						
9 交通安全活動						
10 防災活動						
11 防犯活動						
12 独居高齢者の見守り						
13 高齢者の居場所づくり（生きがい、ふれあい、趣味の場づくり）						
14 子どもの居場所づくり（食事、遊び、学習の場の提供）						
15 子育て支援の場づくり						
16 地域住民との親睦を深める行事（祭り、運動会、季節の行事等）						
17 ねぶた祭り						
18 地域の伝統芸能・伝統行事（名称： ）						
19 学習会（出前講座、体験教室等）						
20 集会所の維持・管理						
21 神社への協力						
22 集金関係（町会費や募金等）						
23 住民へのアンケートの実施						
24 ホームページやSNSでの情報発信						
25 その他（ ）						

4. 町会のこれからについて

問 12 貴町会では、現在、町会の継続について不安を感じていますか。（当てはまるものに✓をつけてください。）

- ☐ 大いに不安を感じている ☐ 少し不安を感じている
☐ 不安は感じていない

問 13 不安を感じる要因として、当てはまるものすべてに✓をつけてください。

- | | |
|--|--|
| ☐ 役員の成り手が少ない（いない） | ☐ 役員の高齢化 |
| ☐ 役員の負担が重い | ☐ 意見の合意形成、調整が難しい |
| ☐ 町会に対する関心が低い | ☐ 町会行事の参加者が少ない |
| ☐ 活動場所の確保が難しい | ☐ 未加入世帯の増加 |
| ☐ 財源の不足 | ☐ 行政・関係団体からの依頼事務が多い |
| ☐ 今は特になし | |
| ☐ その他（自由記述） | |

問 14-1 問 13 で選んだことを改善するために、貴町会の中で取り組みたいと思うことを教えてください。（当てはまるものすべてに○をつけてください）

- ア．次の担い手を発掘・育成していく取組
イ．町会の活動や行事参加を住民へ働きかけること
ウ．町会広報などによる情報発信
エ．町会への加入促進
オ．住民が集まったり活動したりする場所の確保
カ．町会行事や運営、組織体制の見直し
キ．役員間の情報共有の効率化
ク．役員負担の軽減
ケ．他町会との情報交換
コ．活動費用の捻出
サ．民生委員や PTA 等、他の組織との連携
シ．町会の統廃合等の再編成
ス．今は特になし
セ．その他取り組みたいこと（自由記述）

問 14-2 問 14-1 で、特に力を入れて取り組みたいと思う上位 3 つについて、その記号（ア～セ）を記入してください。

問 14-3 問 14-1 で、市に支援してほしいと思うことについて教えてください。（当てはまるものすべての記号（ア～セ）を記入してください。）

5. さいごに

問 15 貴町会で、実施して効果があった取組み（活動への参加者が増えた、加入者が増えた、役員の負担が減ったなど）がありましたらぜひ教えてください。

問 16 貴町会の PR ポイントや特徴的な取組みがありましたら、ご記入ください。（どんなことでも結構です。）

問 17 町会に関するご意見や、町会活動を行う上で日頃思っていること、町会長をやって良かったと思うことなど、自由にご記入ください。

アンケートはこれで終わりになります。

お忙しい中、お時間を割いていただき、どうもありがとうございました。